

令和7年度盛岡市立好摩小学校校舎安全対策（外壁・屋根等）修繕

区分	番号	内容
意匠図	A1	建築改修修繕特記仕様書 1
	A2	建築改修修繕特記仕様書 2
	A3	建築改修修繕特記仕様書 3
	A4	建築改修修繕特記仕様書 4
	A5	建築改修修繕特記仕様書 5
	A6	付近見取図・配置図
	A7	外部仕上表・修繕概要表
	A8	1階平面図
	A9	2階平面図
	A10	3階平面図
	A11	屋根伏図
	A12	棟14-1・14-2 既存・修繕後 屋根部分詳細図
	欠番	
	A14	既存 校舎14-1玄関・※-チ平面詳細図 断面詳細図
	A15	修繕 校舎14-1玄関・※-チ平面詳細図 断面詳細図
	A16	立面図（東面）-1
	A17	立面図（南面）-2
	A18	立面図（西面）-3
	A19	立面図（北面）-4
	A20	矩計図
	A21	1階天井伏図
	A22	2階天井伏図
	A23	3階天井伏図
	A24	1階建具キ-ブ-ラシ
	A25	2階建具キ-ブ-ラシ
	A26	3階建具キ-ブ-ラシ
	A27	棟14-1 建具表
	欠番	
	欠番	
	欠番	
	A31	劣化位置 立面図（東面）-1
	欠番	
	欠番	
	欠番	

[illegible]

令和7年度盛岡市立好摩小学校校舎安全対策（外壁・屋根等）修繕 特記仕様書	Ⅰ. 修 繕 概 要	1. 修繕場所	盛岡市好摩字夏間木7番60外
		用途地域：第一種住居地域	防火地域等：指定無
		敷地面積	14,867m ²
		3. 修繕規模	校舎14-1：RC造3階建て、延床面積2,211m ² 、S61・11建築
		4. 修繕範囲	屋根のバレー工法改修（破風共）、軒天の塗装改修、外壁の塗装改修（開口部廻りシリング改修）、ホーチクローフ新設、児童昇降エントール一部改修、テラス一部改修、図示の設備修繕
		5. その他	電気設備改修及び機械設備改修は、電気設備改修図及び機械設備改修図参照
		6 別 途 修 繕	
		Ⅱ 建 築 修 繕 仕 様	
		1. 共通仕様	図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（最新版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。ただし、標準仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（最新版）」（以下「改修標準仕様書」という。）」「公共建築木造工事標準仕様書（最新版）」（以下「木造標準仕様書」という。）」及び「建築物解体工事共通仕様書（最新版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。
		2. 特記仕様	1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2）特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と※印のついた場合は、共に適用する。 3）特記事項に記載の（ ）、＜ ＞及び〔 〕内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。
章 項 目		特 記 事 項	
一般事項	①	一般事項	○ 修繕施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督員に報告の上、指示に従うこと。 ○ 受注者は、監督員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ○ 施工体系図を現場に掲示すること。 ・ 修繕着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤、擁壁、内外壁、床、建具等）を調査・記録し、報告書を監督員に提出すること。 調査範囲 ※ 図示
		② 適用基準等	○ 建築工事標準詳細図（最新版） ○ 工事写真撮影ガイドブック＜建築工事編及び解体工事編＞（最新版） ○ 建築工事監理指針（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）
		③ 実施工程表	週間、月間、工程別工程表等の作成、提出は監督職員の指示による。＜1.2.1＞
		④ 電気保安技術者	・ 適用する ※ 適用しない ＜1.3.3＞
		⑤ 建築材料等	材料の品質等 ＜1.4.2＞ 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。
		⑥ 室内の空気中の化学物質濃度の測定	※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 ＜1.6.9＞（1.5.9） 測定対象物質 ※ ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレン・パラジクロロベンゼン 測定は、「官庁営繕部における平成15年度からのホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」（平成15年4月1日付け）国営建第1号・国営設第1号）により行い、厚生労働省の指針値以下であることを確認し、報告すること。 測定箇所 ・ 次の室について測定する。 測定する室名（ ） ・ 上記によらない場合は監督員の指示による。 この場合、受注者は協議簿を作成し、監督員から指示を受けること。 測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を2部提出する。 a 測定結果 b 試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内）、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数） c 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合、引渡は受けない。
		⑦ 特別な材料の工法	「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。
		⑧ 施工調査	施工数量調査 ＜1.5.2＞ 調査項目 調査範囲 調査方法 成 果 品 図示 外壁改修範囲 図示 2部 ・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。 ＜1.5.3＞
		⑨ 技 能 士	＜1.6.2＞ ・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。 ・ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。
		⑩ 提出書類	（契 約 後） ○修繕工程表 ○現場代理人、主任技術者等届 ○火災保険加入契約書（写） ○請負代金内訳書 （工 事 中） ・ 出来高検査願 ○施工体制台帳（写） （完 成 後） ○修繕完成届 ○修繕完成引渡書 共通、特記仕様書等に定められている主な提出書類 （契 約 後） ・修繕総合施工計画書 （修 繕 中） ○各種修繕施工計画書 ○各種修繕施工図 ○修繕作業日報 ○主要資材規格又は品質証明書 ○各種試験成績書又は報告書 ○主要資材搬入検査願 ○施工体制台帳（写） （完 成 後） ○完成図 ○責任施工保証書 ○各種届出書等 ○官公署認可及び検査済証 ○取扱説明書（設備機器説明含む）
一般事項	①	施工図及び施工計画書	＜1.2.2＞＜1.2.3＞ （a）施工図及び施工計画書は、工事の着手に先立ち、各工種において作成し提出する。 （b）施工図の記載内容及び記載水準は、建設大臣官房官庁営繕部監修「建築・設備工事施工図の描き方（最新版）」に準ずるものとする。 （c）本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権者の権利は、当該建物における使用に限り発注者に移譲するものとする。 （d）提出部数は、監督員の指示による。
		② 設備修繕との取合い	施工範囲 各工事の区分表による。 ・ 図示した貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 ・ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び下地材の補強 ・ 駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・ 自動閉鎖装置取付けの箇所の切り込み及び補強

令和7年度盛岡市立好摩小学校校舎安全対策（外壁・屋根等）修繕	 1級建築士事務所岩手県知事登録第1(2705)384号 (有)白浜建築設計事務所 1級建築士建設大臣登録第140869号 代表取締役 白 濱 成 朗 岩手県盛岡市浅岸1丁目12番12号 TEL019(652)2548・FAX019(652)2551	検 図	製 図	計 画	備 考	作図年月日 R5・12	図面内容 建築改修補特記仕様書 2	縮尺	図面番号 A-2
			岩瀬 謙 廣 1級建築士 第246458号			訂正年月日			区分 意匠図

6

①. 改修範囲

内装改修修繕

2. 既存床の撤去・下地補修

③. 改修後の床の清掃範囲

4. 既存壁の撤去・下地補修

5. 木 材

6. 集成材

7. 床張り用合板

8. 防腐・防蟻・防虫処理

9. 軽量鉄骨天井下地材

⑩. 軽量鉄骨壁下地材

11. 体育館の鋼製床下地

12. ビニル床シート張り

13. ビニル床タイル張り

14. ビニル床タイル・ビニル床シートの特殊機能

15. 視覚障害者用床タイル

16. ビニル幅木

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
○ 図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・ 図示の範囲
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※ 既存のまま
・ 図示の範囲
合成樹脂塗床の除去方法
・ 目荒工法
・ 機械的除去工法
・ 当該室全体
○ 図示の範囲
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修方法
※ <4.4.9>による
・ ()
表面仕上げる程度
<6.5.1(3)>
表面仕上げの種別
適用箇所
機械加工
・ A種
・ B種
・ C種
・ H-A種
・ H-B種
・ H-C種
手加工
・ H-A種
・ H-B種
・ H-C種
含水率
下地材 ※ A種
・ B種
造作材 ※ A種
・ B種
造作材の材面の品質 ※ A種
・ B種
造作用集成材は<6.5.2(3)>による
見付け材面 JASによる集成材
等 級 ※ 1等
・ 2等 ※ JAS集成材1等
同等
単材の樹種
単材の厚さ(mm) 10~15 10~15
下地用合板
※ JASの構造用合板 特類 2等以上 C-D以上
・ ()
薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理
適用部材 () 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4
薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理を行う。
防虫処理
ラワン材 保存処理性能区分 ※ K1
野縁などの種類
屋内 ※ 19型
・ 25型 (室名:)
屋外 ・ 19型 ※ 25型
インサート
・ 既存インサートを使用する
・ あと施工アンカーを設ける
あと施工アンカーの確認試験
・ 行う ※ 行わない
耐震性を考慮した補強
※ 行わない
・ 行う (補強方法と補強箇所は図示による)
耐風圧性を考慮した補強 (ピロティ、屋外軒天井等)
※ 行わない
・ 行う (補強方法と補強箇所は図示による)
スタッド、ランナーなどの種類は<表6.7.1>による。
※ JIS A 6519のJIS表示認証製品
JIS A5705のJIS表示認証製品
種 類 記号 色 柄 厚さ(mm) 特殊機能 工 法
※ 発泡層のないもの ※FS ※無地 ※ 2.0 ・帯電防止 ※熱溶接
・ 発泡層のあるもの ・TS ・マーブル ・ 2.5 ・耐動荷重 ・突付け
・ HS
・ KS
目地処理する場合の工法 ・熱溶接工法
JIS A5705のJIS表示認証製品
種 類 記 号 寸 法 厚さ(mm) 特殊機能
※ コンポジション ※ K T ※ 300×300 ※ 2.0 ・帯電防止 ・耐動荷重
・ ホモジニアス ・ F T ・ 300×300 ・ 2.0 ・帯電防止
・ ニル床タイル ・ 450×450 ・ 耐動荷重
目地処理する場合の工法 ・熱溶接工法
帯電防止 <6.8.2>
・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 1.2~3.1程度
又は耐電圧 (JIS L 1023) 3kV以下
・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 3.2~5.1程度
又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10¹⁰オーム未満
・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 5.2以上
又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10⁷オーム未満
耐動荷重
JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。
目地処理する場合の工法 ・熱溶接工法
材 質 寸 法 (mm)
・ 塩化ビニル系 ・ せり器質タイル系 300×300
材 種 ※ 軟質 ・ 硬質 ・ 溶接
高 さ (mm) ・ 60 ※ 75 ・ 100
厚 さ (mm) ・ 1.5 ※ 2.0

17. カーベット敷き

18. 合成樹脂塗床

19. フローリング張り

20. 畳敷き

②. 石こうボードその他ボード張り

22. 遮音シール材

23. 壁紙張り

②. タイル張り

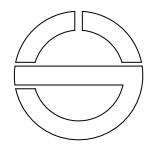
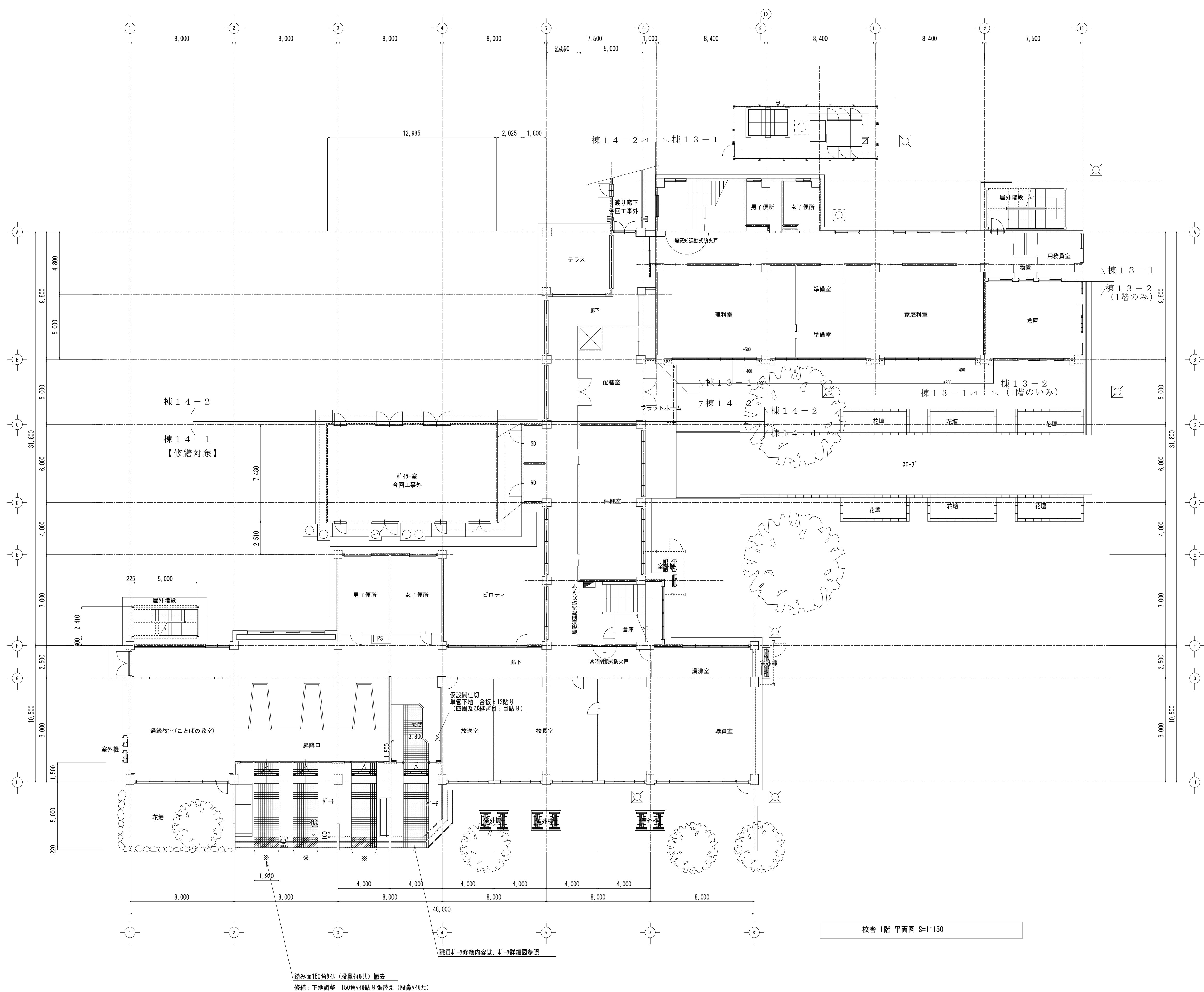
・ タフテッドカーベット
施工箇所 バイル形状 バイル長さ (mm) 工 法 品 質 帯 電 性
※全面接着工法
・ グリッパー工法
<6.9.2~3><表6.9.2>
<6.9.2(2)>による
・ タイルカーベット
施工箇所 種 類 バイル形状 寸 法 総厚さ 帯電性
※第1種 ※ルーフバイル ※500×500 ※ 6.5 製造所の仕様による
・ 第2種 ・ カットバイル
材料の種類
・ 厚膜型塗床材
・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材
・ エポキシ樹脂系塗床材
・ 薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床材)
仕上の種類
・ 平滑仕上げ
・ 防滑仕上げ
・ 単層フローリング
種 別 樹種 厚さ (mm) 工 法 塗装
・ フローリング ※なら ※15幅 75 長さ400以上 ・釘止め工法※ウレタン樹脂
・ 接着工法 ・ ワニス塗り
・ オイルステンの上
・ ワックス
・ 生地のまま
・ ワックス
・ 既塗装品
・ フローリング ※なら ※15 (303×303) ・接着工法
・ 接着工法
・ 既塗装品
・ 複合フローリング
種 別 樹種 種別 防湿処理 工 法 塗装
・ 複合 フローリング ※なら ・ A種 ・ 行う ・釘止め工法※ウレタン樹脂
・ 接着工法 ・ ワニス塗り
・ オイルステンの上
・ ワックス塗り
・ 生地のまま
・ ワックス塗り
・ 既塗装品
・ 大型積層 フローリング ・ なら ・ 行う ・特殊張り
・ 行わない (体育館床) ・ 既塗装品
畳の種類 ・ A種 ・ B種
※ C種 ・ D種 (<6.12.2><表6.12.1>
<6.13.2~3><表6.13.1><表6.13.5>
種類又は記号 種別など 厚 さ (mm) 規格番号
けい酸カルシウム板 (繊維強化セメント板)
0.8FK又は1.0FK 壁 ○ 8(不燃)
・ 10(不燃)
・ 12(不燃)
天井 ・ 6(不燃)
・ 12(不燃)
25(不燃) JIS A 5430 (タイプ2)
グラスウール 吸音ボード (吸音材料) GW-B ガラスクロス (JIS A 3414 EP18程度) 額縁張り品 普通 ※ 9(不燃)
・ 12(不燃)
・ 15(不燃)
・ 19(不燃) JIS A 6301 (32K)
ロックウール 化粧吸音板 (吸音材料) DR ※ 内部用 ・ 軒天用 立体模様 ※ 9(

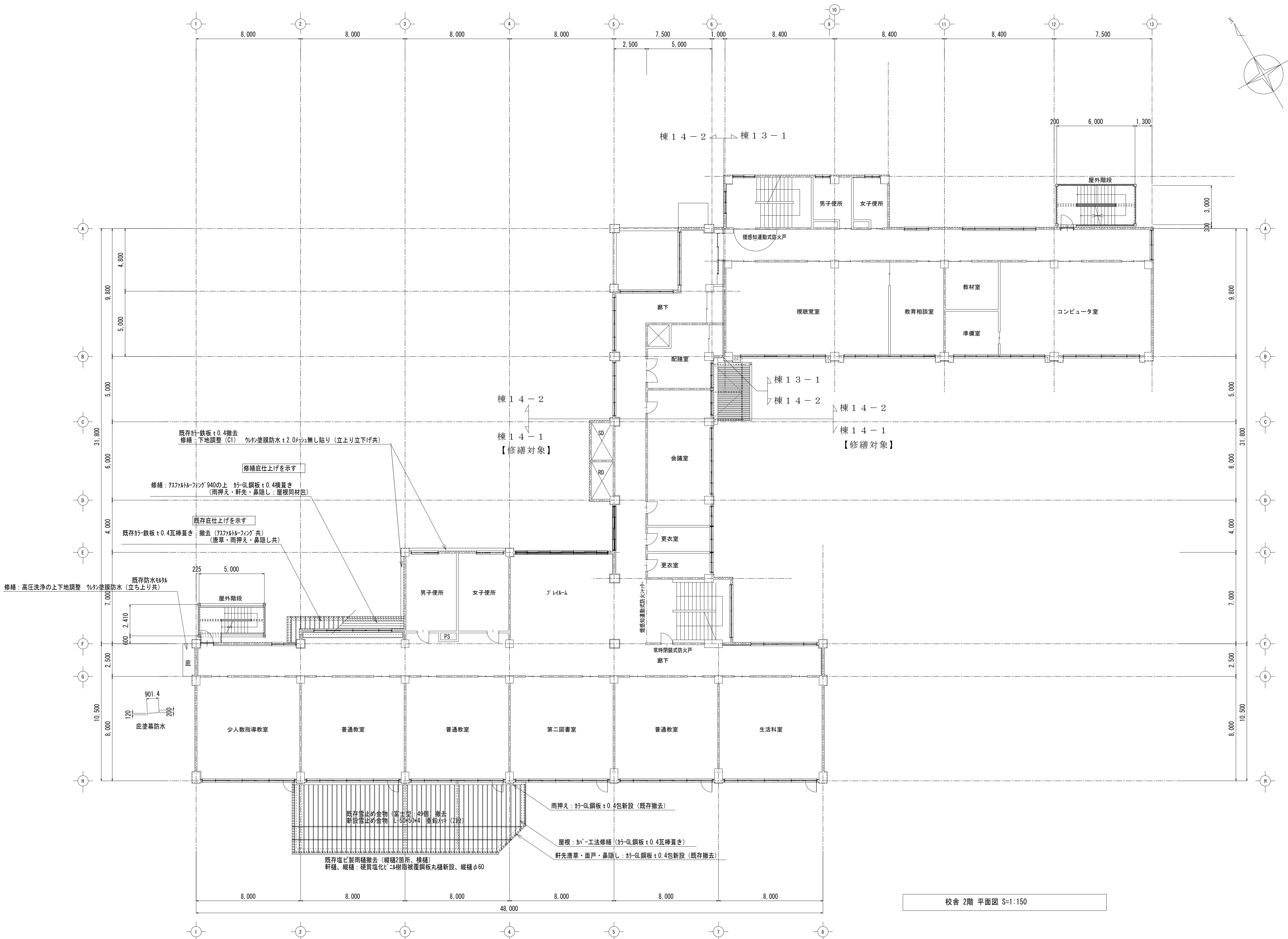
令和7年度盛岡市立好摩小学校校舎安全対策（外壁・屋根等）修繕	 1級建築士事務所岩手県知事登録第(2705)384号 (有)白浜建築設計事務所 1級建築士建設大臣登録第140869号 代表取締役 白 濱 成 朗 岩手県盛岡市浅岸1丁目12番12号 TEL019(652)2548・FAX019(652)2551	検 図	製 図	計 画	備 考	作図年月日 R5・12	図面内容 建築改修補特記仕様書 4	縮 尺	図面番号 A-4
			岩瀬 謙 廣 1級建築士 第246458号			訂正年月日			
									区分 意匠図

[illegible]

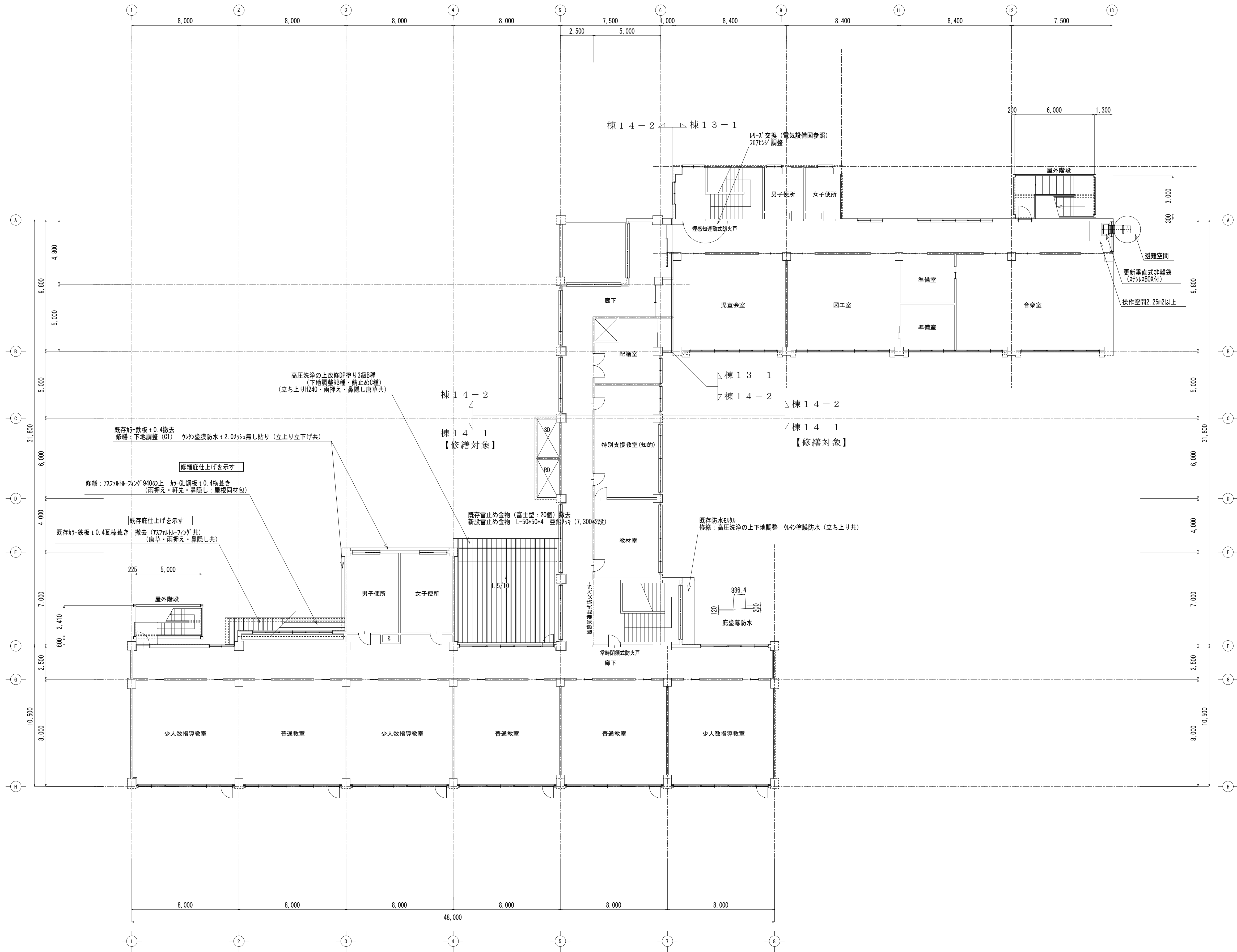
特記	・		設計年月日	担当	検図	照査	修繕名称 令和7年度盛岡市立好摩小学校校舎安全対策（外壁・屋根等）修繕		図面番号 A — 5
	・						図面名称 建築改修工事特記仕様書 5	縮尺 —	
	・								
	・								

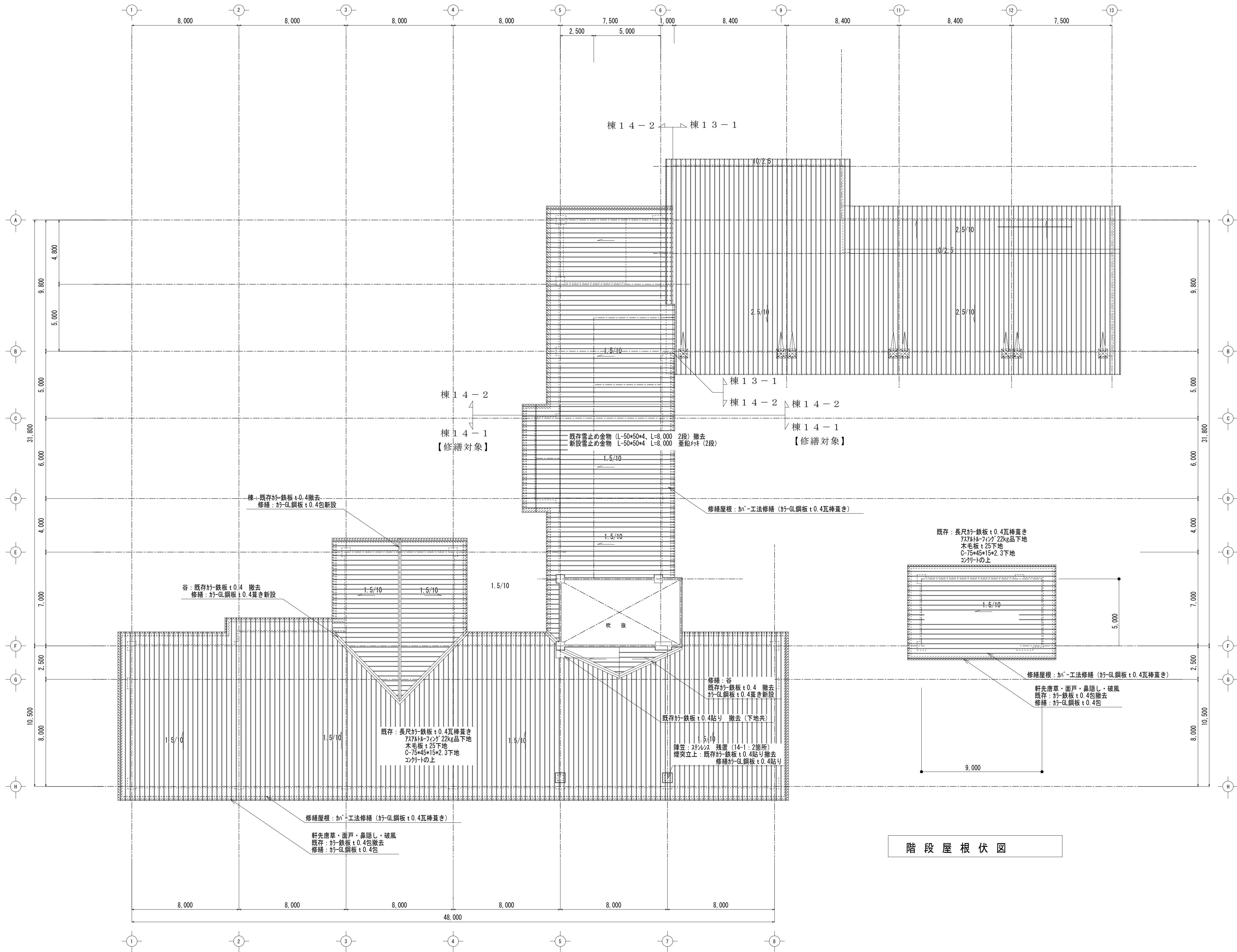
外 部 仕 上 表 ・ 改 修 概 要 表									
部 位		改 修 前（既 存）				修 繕 後			備 考
屋 根		【 本 屋 根 】 棟14-1・14-2 コンクリート・鉄骨母屋（均しモルタルt15・皮付押出硬質発砲スチロールt50低温アスファルト全面接着）・木毛板t25・アスファルト・フィング22kg品下張り 長尺カー鉄板t=0.4瓦棒葺き @364（芯木無し通し吊子A号シーリング材充填）、水勾配：1.5/10 破風・鼻隠し：PL1.6加工下地 カー鉄板t=0.4加工包 棟包：木下地 カー鉄板t=0.4加工包 立上り、雨押え：コンクリート=12下地 カー鉄板t=0.4張り RC壁取り合い：ガラブライト系シーリング				【 本 屋 根 】 ※基本既設木下地再利用・交換必要な部位は同等材新設（屋根部分詳細図参照） ※既存屋根ポリン及び高圧洗浄の上施工する事 既存そのまま カー工法瓦棒葺き カーGL鋼板（SGL同等品）t=0.4 嵌合式 吊子（鋼板裏：ガラブライトフォームt4裏貼）アスファルト・フィング940下張り 新設（元旦ビューティ工業（株）スプリングス3型同等品） 破風・鼻隠し：既存撤去、カーGL鋼板（SGL同等品）t=0.4新設 棟包：既存撤去、カーGL鋼板（SGL同等品）t=0.4新設 立上り、雨押え：カーGL鋼板（SGL同等品）t=0.4カー新設 RC壁取り合い：既存シーリング撤去、変成シリコン系シーリング（MS-2）新設 15x10 2階屋根：既存高圧洗浄の上 改修DP塗り3級B種（下地調整RB種・錆止めC種）（雨押え・立ち上りH240・鼻隠し・唐草共）			既存富士形雪止め金物撤去 新設雪止め金物（L=50×50×4 亜鉛メッキ鋼）
		【 ポーチ屋根 】 本屋根に準ずる 軒樋：塩ビ製、縦樋：塩ビ製 【 手洗い場屋根 】 コンクリート・鉄骨母屋・木毛板t15・アスファルト・フィング22kg品下張り 長尺カー鉄板t=0.4瓦棒葺き @364（芯木無し通し吊子A号シーリング材充填）、水勾配：1.5/10 【 プラットホーム 】 鉄骨下地 カラー折版葺き 軒樋：塩ビ製150×150、縦樋：塩ビ製φ90				【 ポーチ屋根 】 本屋根に準ずる。 軒樋、縦樋：既存撤去 硬質塩化ビニル樹脂被覆鋼板丸樋新設（バナニョクアフロ丸120同等品、縦樋φ60） 【 手洗い場屋根 】 既存カー鉄板瓦棒及びアスファルト・フィング22kg品撤去（雨押え・軒先・鼻隠し共） アスファルト・フィング940の上カーGL鋼板t0.45横葺き（水勾配：1.5/10、雨押え・軒先・鼻隠しは屋根同材包）（元旦ビューティ工業（株）ダンクル-7182同等品） 【 プラットホーム 】 既存折版（鉄骨下地共）：塗装改修DP塗3級 B種（下地調整RB種・錆止めC種） 軒樋：既存撤去、硬質塩ビ樹脂被覆鋼板角型雨樋新設（バナニョク エロイア 前高150WIDE 同等品、縦樋φ100）			
		【 本 屋 根 】 棟13-1 鉄骨小屋組・耐水合板t12・アスファルト・フィング22kg品下張り 長尺カー鉄板t=0.4瓦棒葺き @364（芯木無し通し吊子）、水勾配：2.5/10・10/2.5 破風・鼻隠し：木下地 カー鉄板t=0.4加工包 立上り、雨押え：コンクリート=12下地 カー鉄板t=0.4張り RC壁取り合い：ガラブライト系シーリング				【 本 屋 根 】 棟13-1 既存そのまま カー工法瓦棒葺き カーGL鋼板（SGL同等品）t=0.4 嵌合式 吊子（鋼板裏：ガラブライトフォームt4裏貼）アスファルト・フィング940下張り 新設（元旦ビューティ工業（株）スプリングス3型同等品） 破風・鼻隠し：既存撤去、カーGL鋼板（SGL同等品）t=0.4新設 破風・鼻隠し：既存撤去、カーGL鋼板（SGL同等品）t=0.4新設 立上り、雨押え：カーGL鋼板（SGL同等品）t=0.4カー新設 RC壁取り合い：既存シーリング撤去、変成シリコン系シーリング（MS-2）新設 15x10			
軒 天		【 一般、ポーチ、手洗い場、庇 】 棟14-1・14-2 コンクリート打放補修 吹付タイル				【 一般、ポーチ、手洗い場、庇 】 ※既存塗膜除去+ポリン及び高圧洗浄の上施工する事 軒天：亀裂・浮き他注入補修、防水形複層塗材RE			＜補修部分＞ 亀裂注入補修：超微粒子ベント系注入材 自動低圧注入工法 浮き注入補修：エポキシ樹脂 部分 フルカービン（25本/㎡） 爆裂部補修：研り、除錆、防錆、ガラセメントモルタル埋戻し 欠損部補修：研り、ガラセメントモルタル埋戻し
		【 ポーチ 】 LGS下地 フルカービンボードt4/H型ジョイント吹付タイル				【 ポーチ 】 ※ポリン及び高圧洗浄の上施工する事 下地調整（RB種）、吹付タイル			
		【 一般 】 棟13-1 LGS下地 大平板t=5.0VP				【 一般 】 棟13-1 既存大平板t5撤去（下地LGS共）、LGS25下地 ケイ酸カルシウム板t5 EP塗装			
外 壁		【 一般 】 棟14-1・14-2 コンクリート打放補修 吹付タイル 打継目地：各階コキング 手洗い場下部：木下地 センチュリーボード下地 吹付タイル 梁天端：カー鉄板t0.4貼り 【 一般 】 棟13-1 コンクリート打放補修 吹付タイル 打継目地：コキング無 【 一般 】 棟13-2 鉄骨下地 センチュリーボード下地 吹付タイル				【 一般 】 棟14-1・14-2 ※既存塗膜除去+ポリン及び高圧洗浄の上施工する事 亀裂・浮き他注入補修の上、防水形複層塗材RE 既存撤去、新設コキング 既存撤去（下地共） 既存撤去（下地共） 下地調整（C1） ホルタン塗膜防水t2.0マッシュ無し（立上り立下り共） 【 一般 】 棟13-1 ※既存塗膜除去+ポリン及び高圧洗浄の上施工する事 吹付タイル撤去（剥離材併用手工具ポリン工法）、亀裂・浮き他注入補修の上、防水形複層塗材RE － 【 一般 】 棟13-2 センチュリーボードt12撤去 ケイ酸カルシウム板t12下地 防水形複層塗材RE			＜補修部分＞ 亀裂注入補修：超微粒子ベント系注入材 自動低圧注入工法 浮き注入補修：エポキシ樹脂 部分 フルカービン（16本/㎡） 爆裂部補修：研り、除錆、防錆、ガラセメントモルタル埋戻し ポコ部補修：研り、除錆、防錆、ガラセメントモルタル埋戻し 欠損部補修：研り、ガラセメントモルタル埋戻し ※既存シーリングはPCB無
基礎廻り		【 一般 】 棟14-1・14-2 コンクリート打放補修 吹付タイル				【 一般 】 棟14-1・14-2 ※既存塗膜除去+ポリン及び高圧洗浄の上施工する事 亀裂・浮き他注入補修の上、防水形複層塗材RE			
		【 一般 】 棟13-2 モルタル刷毛引き仕上				【 一般 】 棟13-2 亀裂・浮き他注入補修の上、防水形複層塗材RE ※ポリン及び高圧洗浄の上施工する事			
開口部		アルミサッシ 見込60（一部イージークラド品 70） サッシ周囲（四方、水切下含む）：ガラブライト系シーリング 15x10				職員玄関ドア撤去（枠残し）、新設アルミドア（欄間付、袖FIX付、電子錠）カー工法 サッシ周囲：既存シーリング撤去、変成シリコン系シーリング（MS-2）打替え 15x10			※既存シーリングはPCB無
その他		【共通】 コンクリート庇及びフォーム：防水モルタル金コテ 煙突：コンクリート下地吹付タイル（13-1：吹付タイル） 陣笠：ステンレス 屋根取合立上：木下地カー鉄板t0.4貼り 天井裏換気パイプ：硬質塩化ビニル+ABS樹脂エポキシ（防虫網付）φ50 屋外鉄骨階段 13-1教室前フロア：モルタル金コテ 空調器盤・空調配管・時計・投光器 外壁のSD（スタートア） 盤・金属製BOX・金属製電線管 VP管 【東面】 空調配管ダクトカバー 【南面】 空調機配管ダクトカバー 【西面】 可とう電線管φ40 【北面】 スタイロフォームt20貼り（アル							





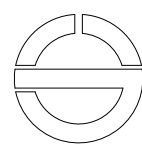
校舎 2階 平面図 S=1:150

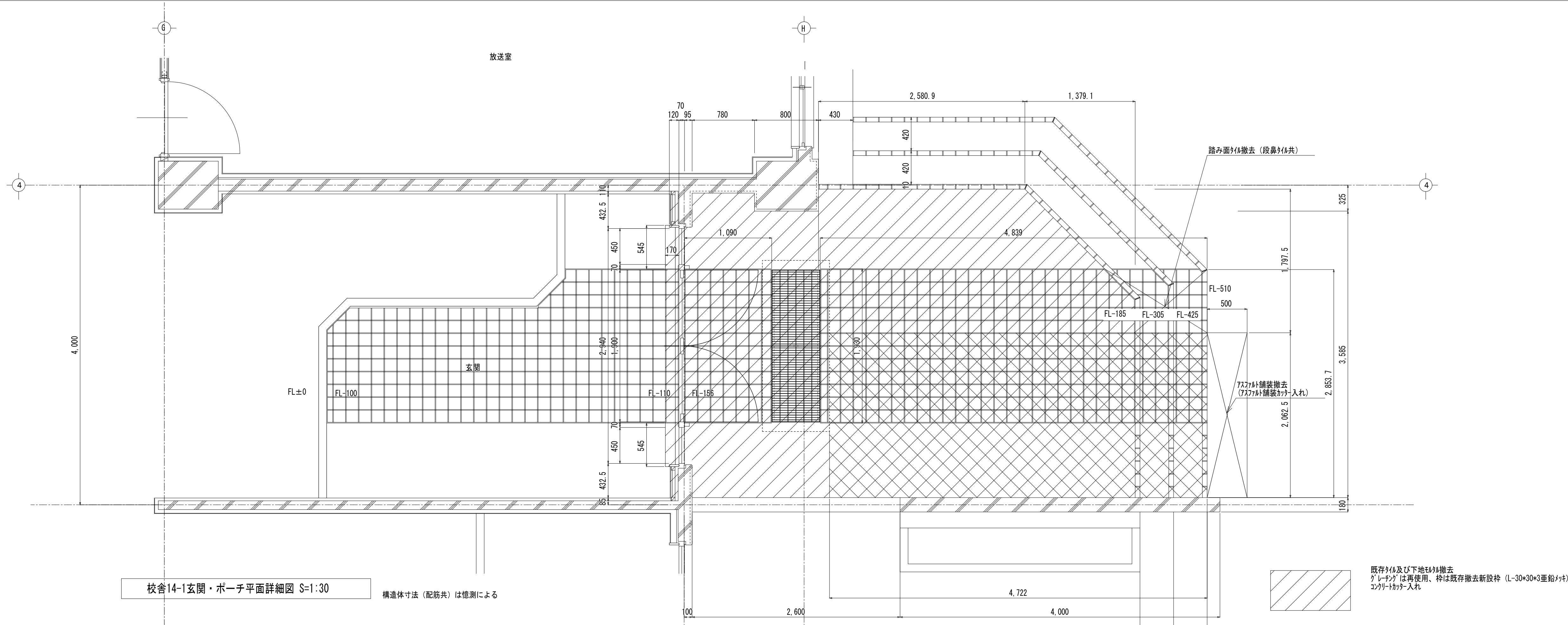




階段屋根伏図

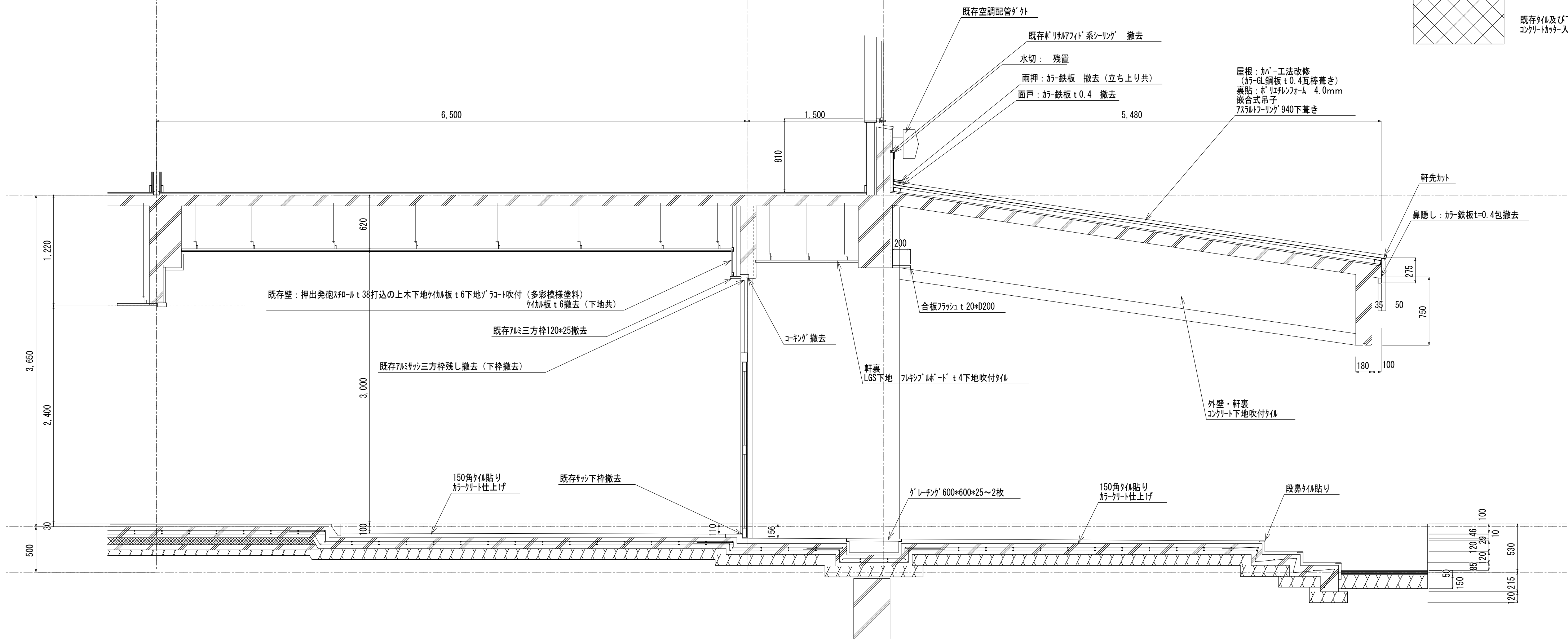
	片流頂部納め S=1:10	壁取合いステ谷納め S=1:10	棟納め S=1:10	谷納め S=1:10	壁取合い納め S=1:10
既存					
修繕後	【新規】 特殊かん合式角桟タイプ瓦棒（改修用） カラーガルバリウム鋼板 t0.4 裏貼材：発砲ポリエチレンフォーム t=4.0 耐風圧性能：3600Pa以上（公的試験値） 【新規】 棟面戸 屋根同材加工 【新規】 吊子 【新規】 頂部包み：屋根同材加工 下地：ガルバリウム鋼板 t=0.8 破風：ｶﾞｰﾃｰﾌﾞ鋼板 t0.4包	【新規】 特殊かん合式角桟タイプ瓦棒（改修用） カラーガルバリウム鋼板 t0.4 裏貼材：発砲ポリエチレンフォーム t=4.0 耐風圧性能：3600Pa以上（公的試験値） 【新規】 シール処理（シール工事） 【新規】 雨押え：屋根同材加工 下地：ガルバリウム鋼板 t=0.8 【新規】 谷材：屋根同材加工	【新規】 特殊かん合式角桟タイプ瓦棒（改修用） カラーガルバリウム鋼板 t0.4 裏貼材：発砲ポリエチレンフォーム t=4.0 耐風圧性能：3600Pa以上（公的試験値） 【新規】 棟包み：屋根同材加工 下地：ガルバリウム鋼板 t=0.8 【新規】 棟面戸 屋根同材加工 【新規】 吊子	【新規】 特殊かん合式角桟タイプ瓦棒（改修用） カラーガルバリウム鋼板 t0.4 裏貼材：発砲ポリエチレンフォーム t=4.0 耐風圧性能：3600Pa以上（公的試験値） 【新規】 谷 屋根同材加工 【新規】 吊子	【新規】 シール処理（シール工事） 【新規】 雨押え：屋根同材加工 下地：ガルバリウム鋼板 t=0.8 【新規】 棟面戸 屋根同材加工 【新規】 吊子 特殊かん合式角桟タイプ瓦棒（改修用） カラーガルバリウム鋼板 t0.4 裏貼材：発砲ポリエチレンフォーム t=4.0 耐風圧性能：3600Pa以上（公的試験値）
	片流水下納め S=1:10	煙突部水上側納め S=1:10	手洗い場屋根納め S=1:10		S=1:10
既存					
修繕後	【新規】 面戸 屋根同材加工 【新規】 伸縮唐草 屋根同材加工 【新規】 軒先水切 屋根同材加工 破風：ｶﾞｰﾃｰﾌﾞ鋼板 t0.4包	【新規】 シール処理（シール工事） 【新規】 雪割（平葺き） 屋根同材加工 【新規】 木下地 【新規】 吊子	【新規】 ヌｰﾅｸﾞ 雨押：屋根同材加工 壁立り下地材：亜鉛ﾎﾟｰﾃﾞｰ鋼板 t1.0 通し吊子：屋根同材加工 補強材：亜鉛ﾎﾟｰﾃﾞｰ鋼板 t1.0 ｶﾞｰﾃｰﾌﾞ鋼板 t0.45（ｶﾞｰﾃｰﾌﾞ t4裏貼り） 吊子：亜鉛ﾎﾟｰﾃﾞｰ鋼板 t0.5 TSAﾎﾟｰﾃﾞｰ：亜鉛ﾎﾟｰﾃﾞｰ鋼板 t1.0 TSAsﾎﾟｰﾃﾞｰ：亜鉛ﾎﾟｰﾃﾞｰ鋼板 t1.0 軒先唐草：7ｽﾌﾟﾘｯｸﾞ押出型材（7ｽﾌﾟﾘｯｸﾞ処理） 軒先水切：屋根同材加工 軒先水切：屋根同材加工 7ｽﾌﾟﾘｯｸﾞ 940		





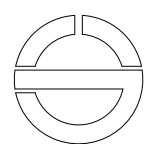
校舎14-1玄関・ポーチ平面詳細図 S=1:30

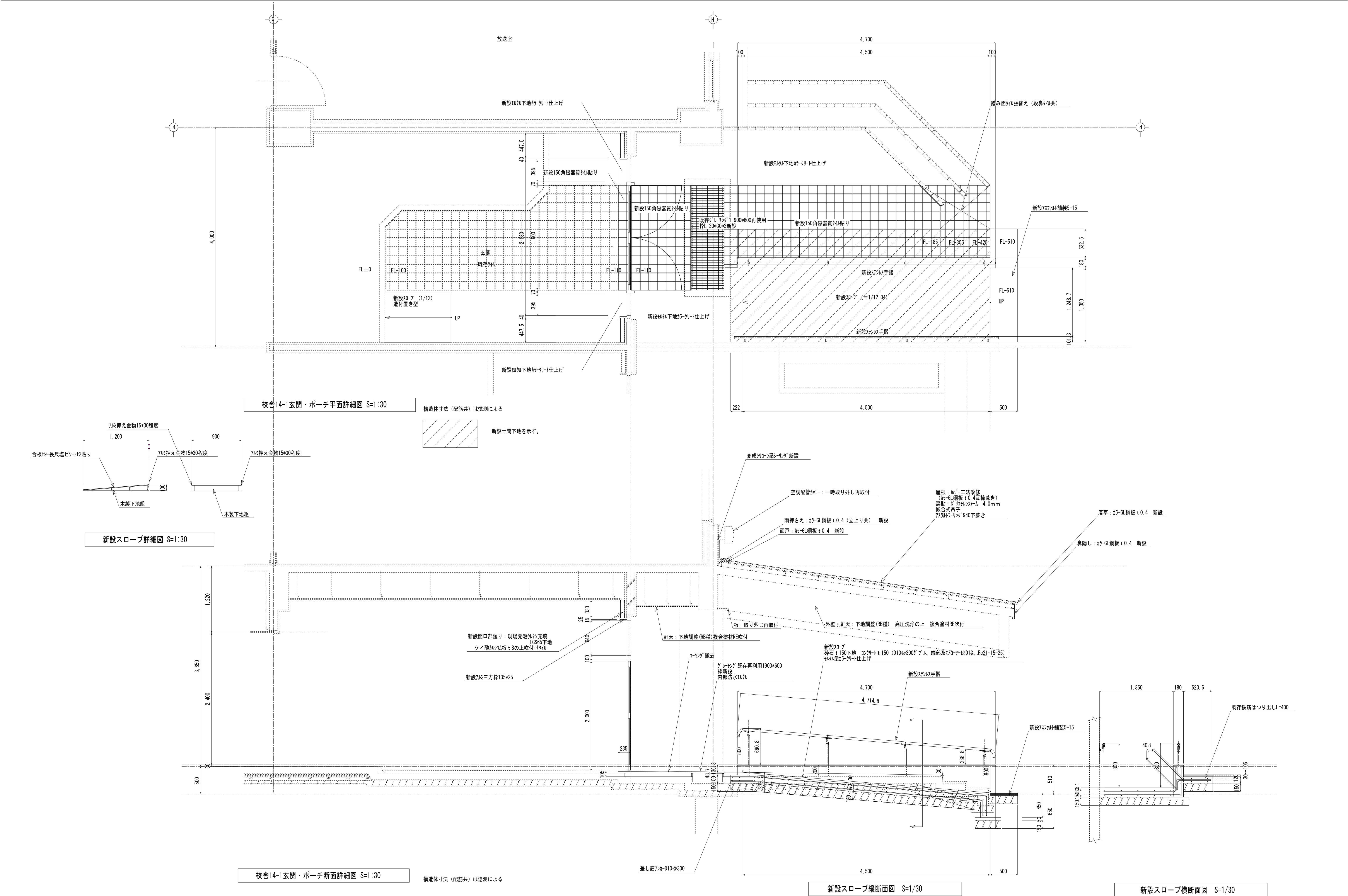
構造体寸法（配筋共）は隠測による



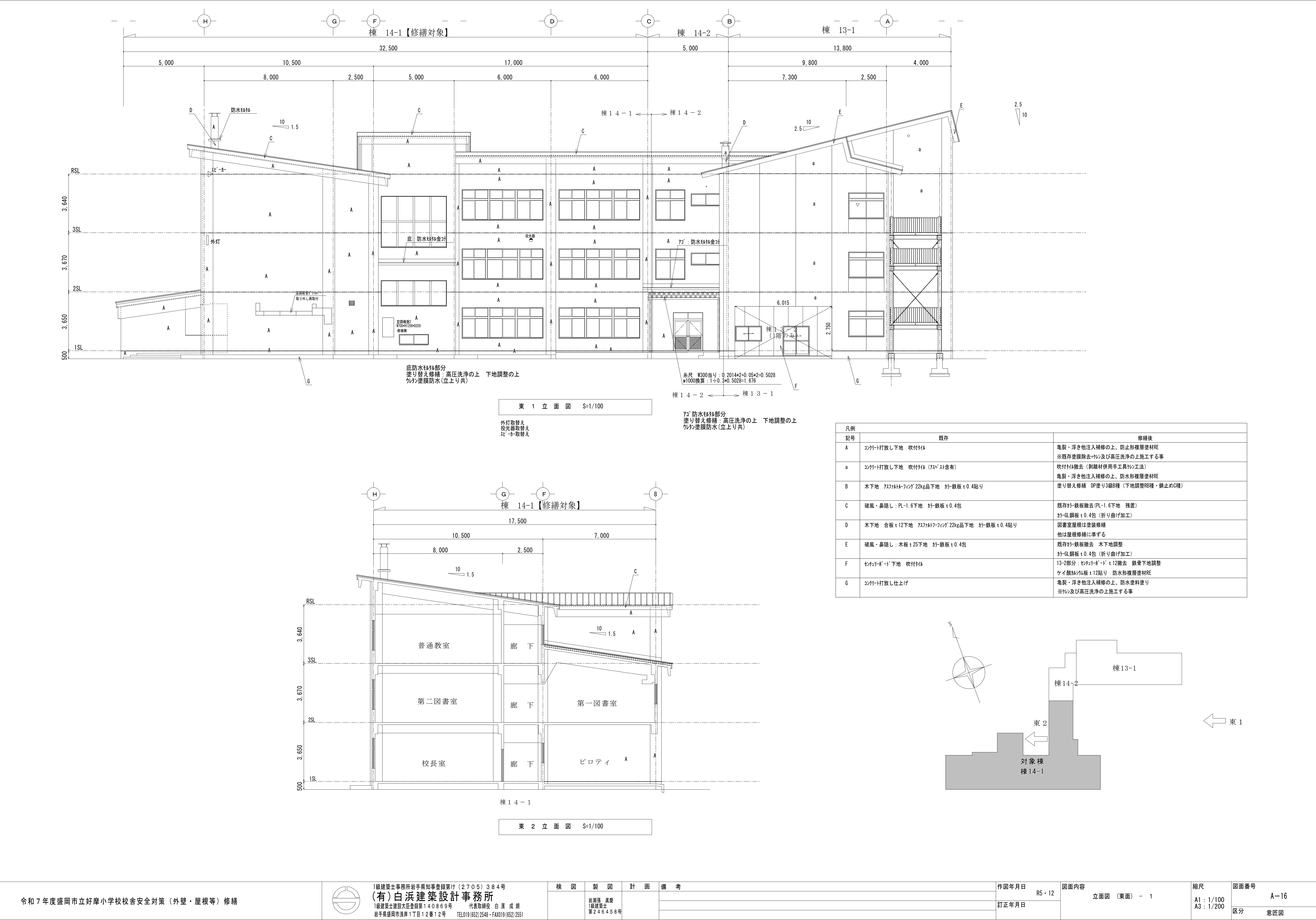
校舎14-1玄関・ポーチ断面詳細図 S=1:30

構造体寸法（配筋共）は隠測による
75mm舗装断面は隠測による

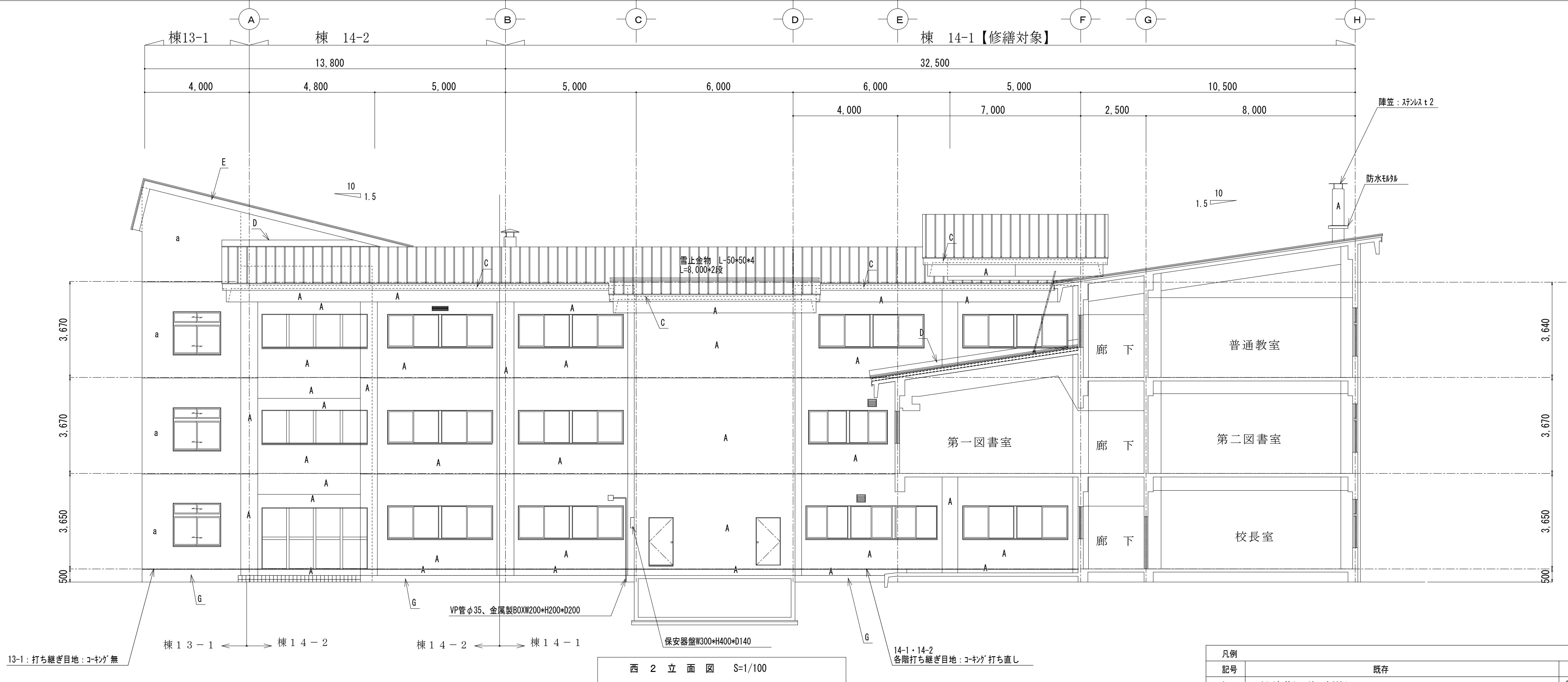




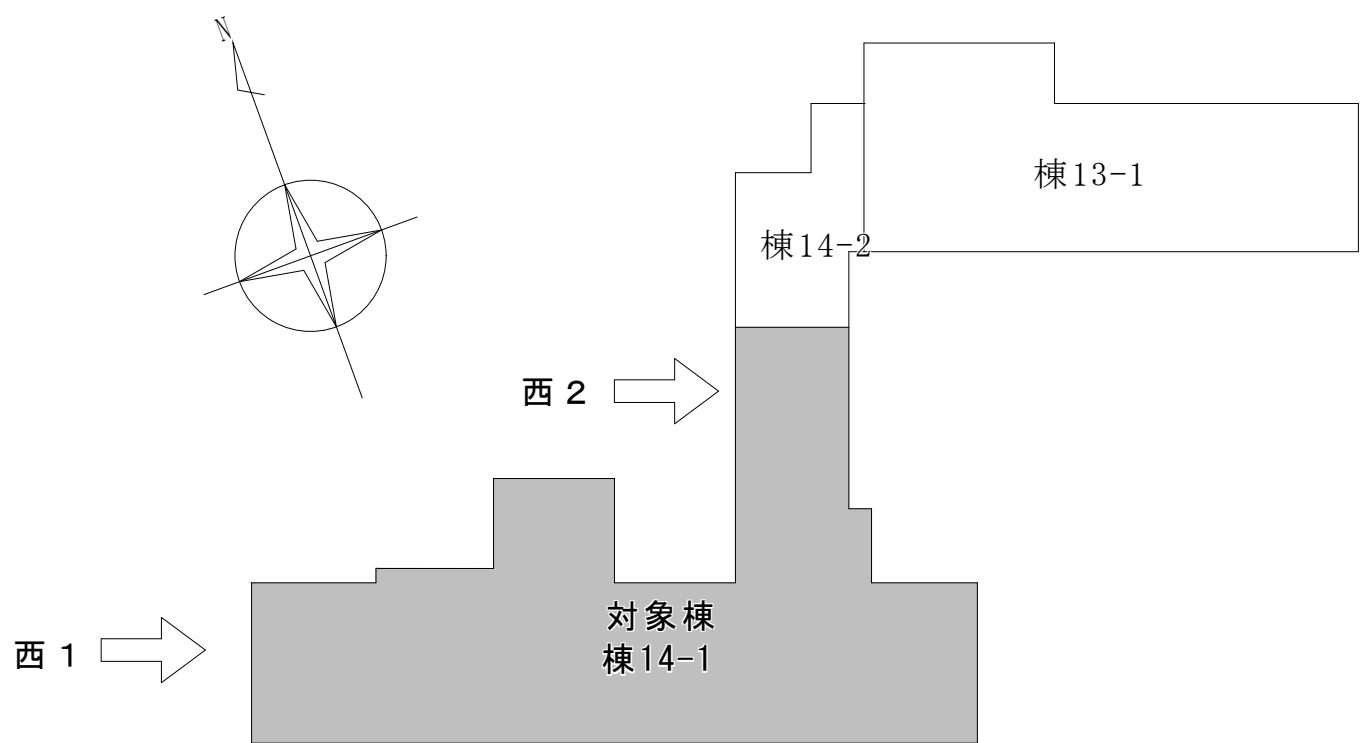
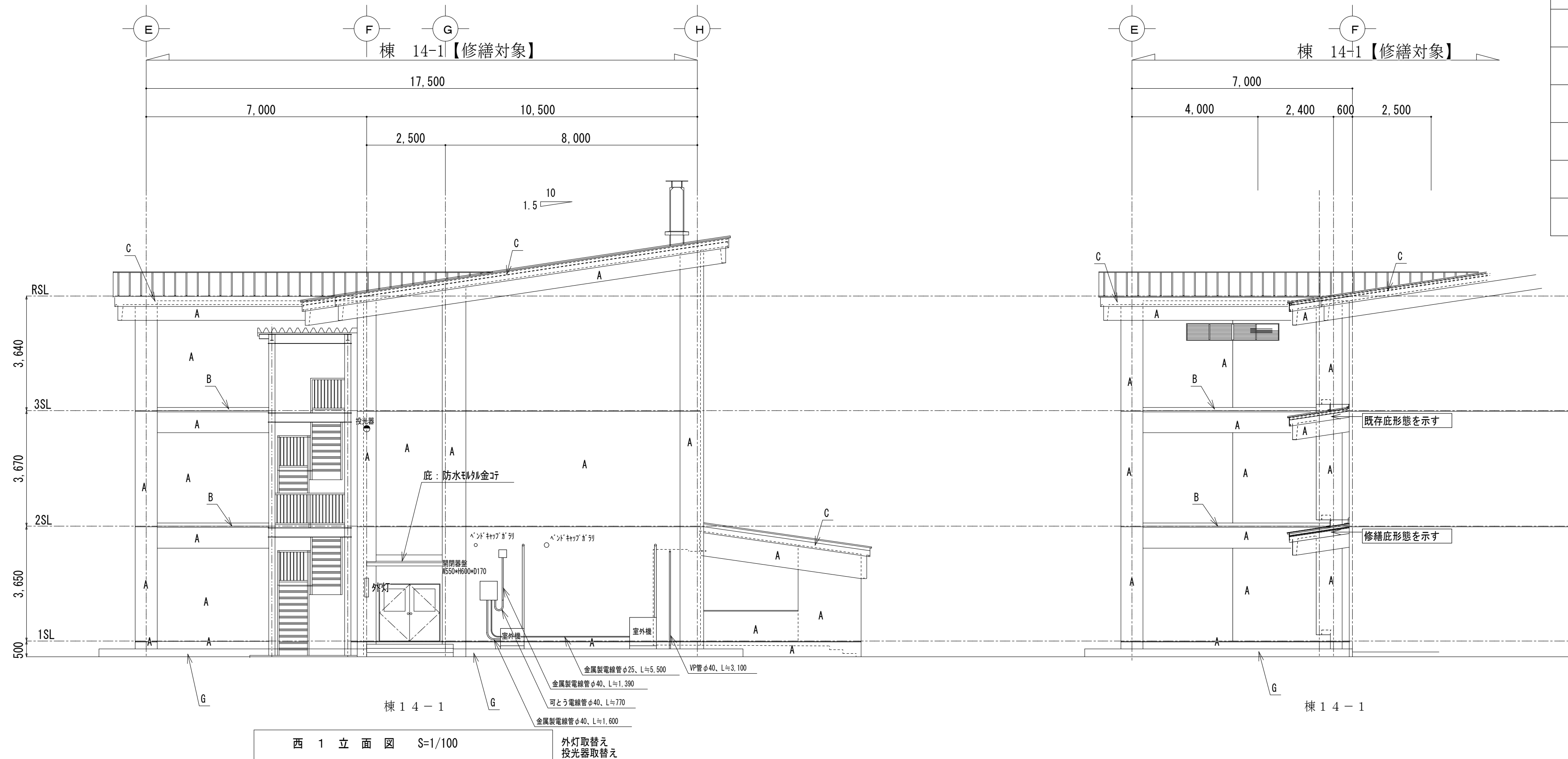
令和7年度盛岡市立好摩小学校校舎安全対策（外壁・屋根等）修繕		1級建築士事務所岩手県知事登録第1（2705）384号 （有）白浜建築設計事務所 1級建築士 建設大臣登録第140869号 代表取締役 白濱 成朗 岩手県盛岡市浅岸1丁目12番12号 TEL019（652）2548・FAX019（652）2551	検 図	製 図	計 画	備 考	作図年月日	R5・12	図面内容 修繕 校舎14-1玄関・ポーチ平面詳細図 断面詳細図	縮尺 A1：1/30 A3：1/60	図面番号 A-15 区分 意匠図
				岩瀬 隆 貴 1級建築士 第246458号			訂正年月日				



凡例			
記号	既存		修繕後
A	コンクリート打放し下地 吹付けタイル		亀裂・浮き他注入補修の上、防止形複層塗材RE ※既存塗膜除去・サリ及び高圧洗浄の上施工する事
a	コンクリート打放し下地 吹付けタイル（7ｽﾍﾞﾙｽ含有）		吹付けタイル撤去（剥離材併用工具での施工） 亀裂・浮き他注入補修の上、防水形複層塗材RE
B	木下地 ﾌｽﾌﾙﾌﾙｰﾌﾝｸﾞ 22kg品下地 ｶﾞｰﾃﾞﾙ板 t 0.4貼り		塗り替え修繕 DP塗り3級B種（下地調整R8種・錆止めC種）
C	破風・鼻隠し：PL-1.6下地 ｶﾞｰﾃﾞﾙ板 t 0.4包		既存ｶﾞｰﾃﾞﾙ板撤去（PL-1.6下地 残置） ｶﾞｰﾙ鋼板 t 0.4包（折り曲げ加工）
D	木下地 合板 t 12下地 ﾌｽﾌﾙﾌﾙｰﾌﾝｸﾞ 22kg品下地 ｶﾞｰﾃﾞﾙ板 t 0.4貼り		図書室屋根は塗装修繕 他は屋根修繕に準ずる
E	破風・鼻隠し：木板 t 25下地 ｶﾞｰﾃﾞﾙ板 t 0.4包		既存ｶﾞｰﾃﾞﾙ板撤去 木下地調整 ｶﾞｰﾙ鋼板 t 0.4包（折り曲げ加工）
F	ﾍﾁﾘｰﾎﾞｰﾄﾞ下地 吹付けタイル		13-2部分：ﾍﾁﾘｰﾎﾞｰﾄﾞ t 12撤去 鉄骨下地調整 ケイ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t 12貼り 防水形複層塗材RE
G	コンクリート打放し仕上げ		亀裂・浮き他注入補修の上、防水塗料塗り ※サリ及び高圧洗浄の上施工する事

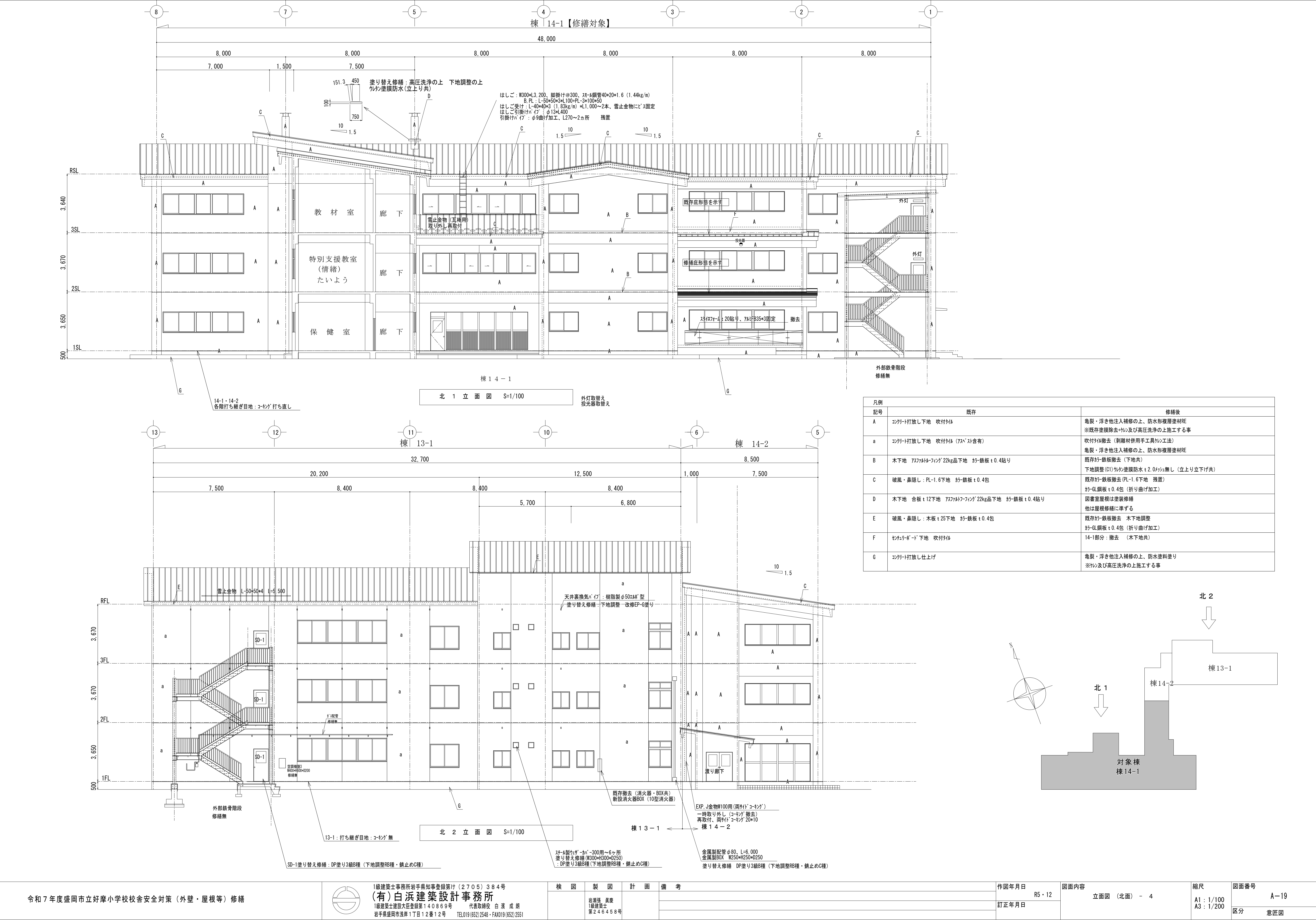


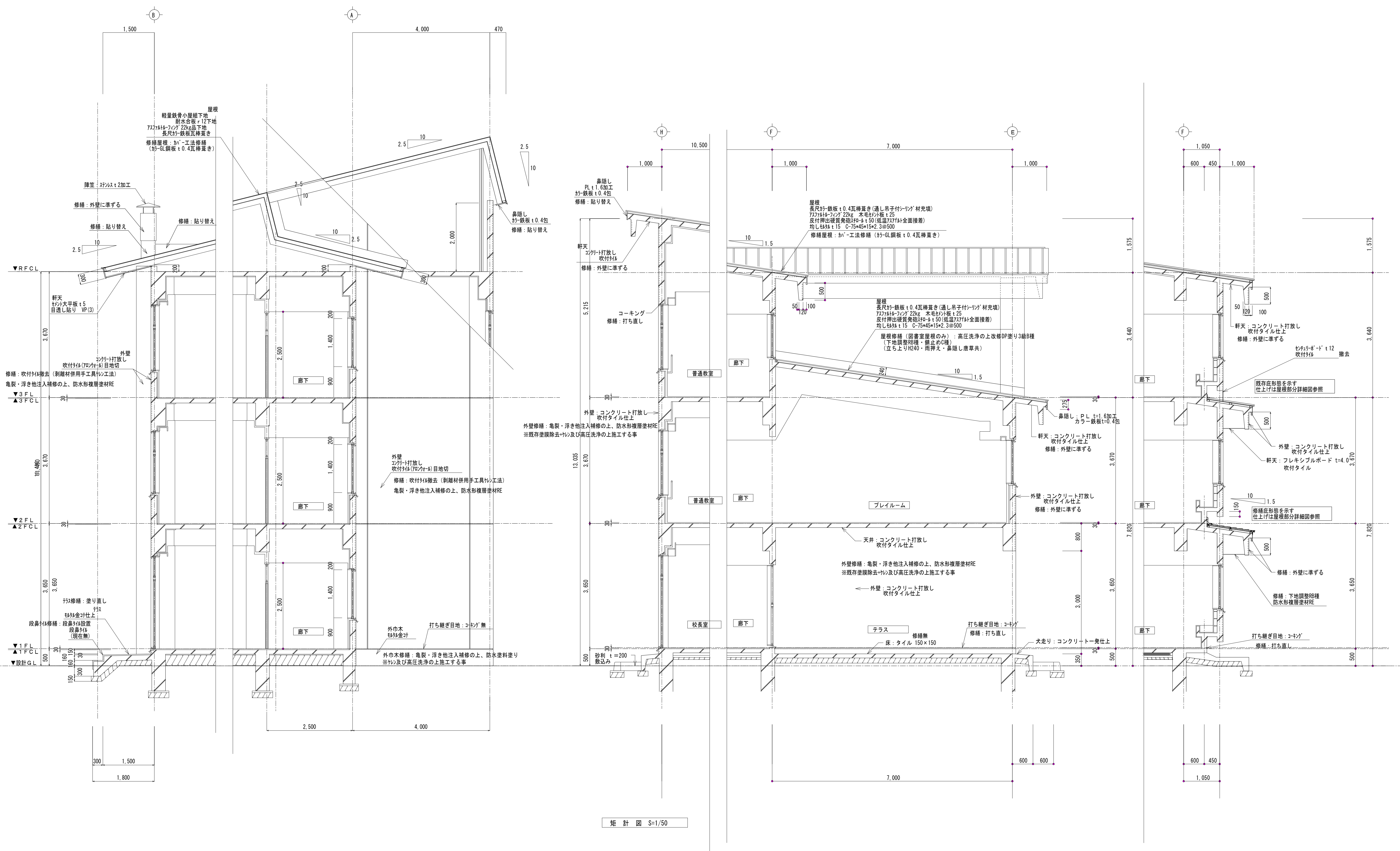
凡例		
記号	既存	修繕後
A	コンクリート打放し下地 吹付け	亀裂・浮き他注入補修の上、防水形複層塗材RE ※既存塗膜除去+ケレン及び高圧洗浄の上施工する事
a	コンクリート打放し下地 吹付け (7%ベシ含有)	吹付け撤去 (剥離材併用工具利用工法) 亀裂・浮き他注入補修の上、防水形複層塗材RE
B	木下地 7%ベシ・フィング 22kg品下地 鉄板 t0.4貼	既存鉄板撤去 (下地共) 下地調整 (C1) ケレン塗膜防水 t2.0ベシ無し (立上り立下げ共)
C	破風・鼻隠し: PL-1.6下地 鉄板 t0.4包	既存鉄板撤去 (PL-1.6下地 残置) 鉄板 t0.4包 (折り曲げ加工)
D	木下地 合板 t12下地 7%ベシ・フィング 22kg品下地 鉄板 t0.4貼	図書室屋根は塗装修繕 他は屋根修繕に準ずる
E	破風・鼻隠し: 木板 t25下地 鉄板 t0.4包	既存鉄板撤去 木下地調整 鉄板 t0.4包 (折り曲げ加工)
F	ベニヤ・ボード下地 吹付け	14-1部分: 撤去 (木下地共)
G	コンクリート打放し仕上げ	亀裂・浮き他注入補修の上、防水塗料塗り ※ケレン及び高圧洗浄の上施工する事



底防水砂列部分
塗り替え修繕、高圧洗浄の上 下地調整の上
ケレン塗膜防水(立上り共)

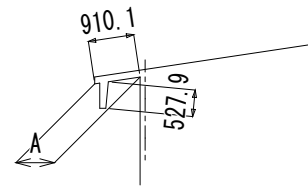
壁・金属製BOX・金属製電線管 ー塗り替え修繕 DP塗り3級B種 (下地調整RB種・錆止めC種)
VP管 ー塗り替え修繕 下地調整 改修EP-G塗り





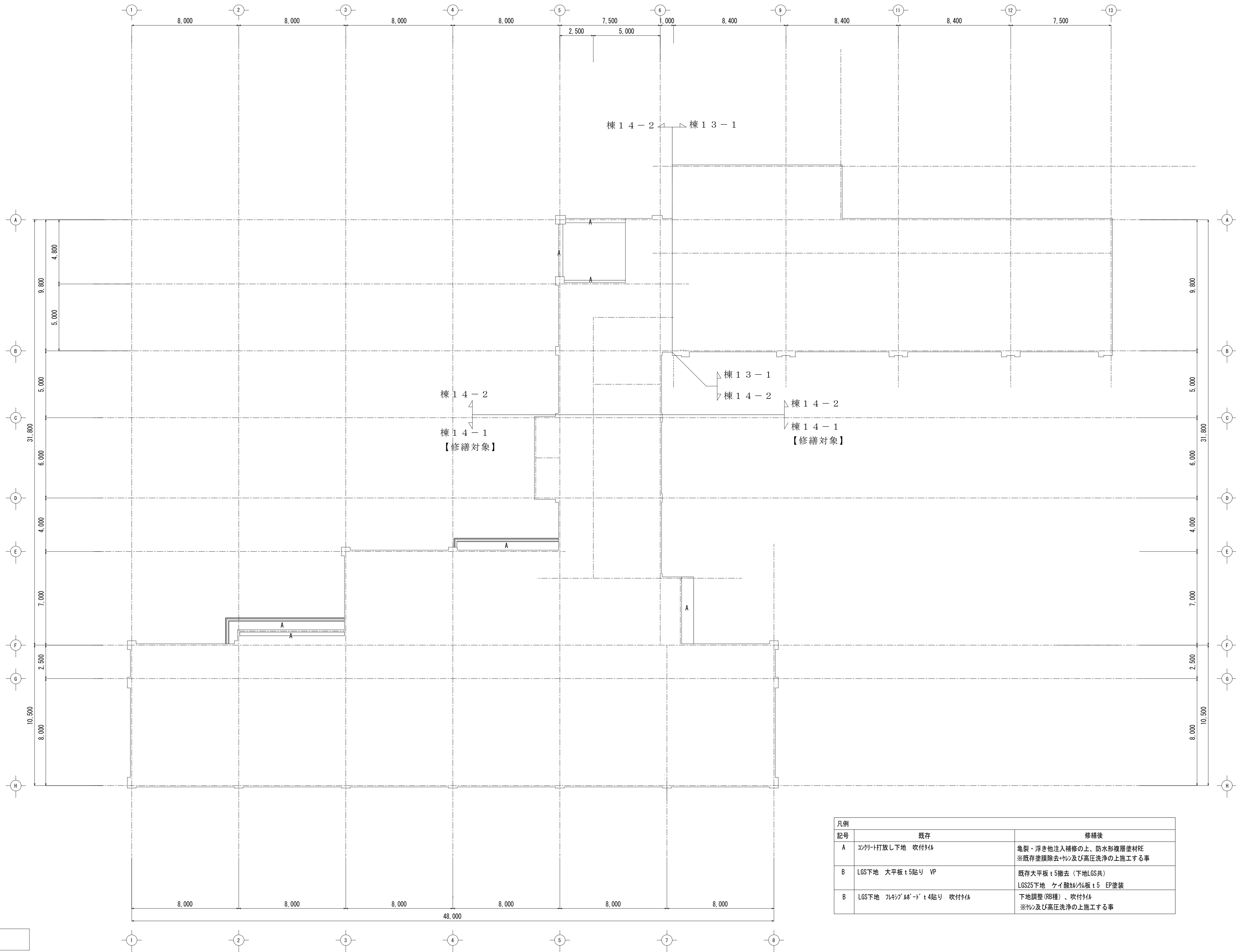
矩 計 図 S=1/50

令和7年度盛岡市立好摩小学校校舎安全対策（外壁・屋根等）修繕		1級建築士事務所岩手県知事登録第(2705)384号 (有)白浜建築設計事務所 1級建築士建設大臣登録第140869号 岩手県盛岡市浅岸1丁目12番12号 TEL019(652)2548・FAX019(652)2551	検 図	製 図	計 画	備 考	作図年月日	図面内容 短計図	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図面番号 A-20	
				岩瀬 真慶 1級建築士 第246458号			R5・12				
							訂正年月日				区分
											意匠図

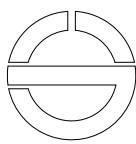


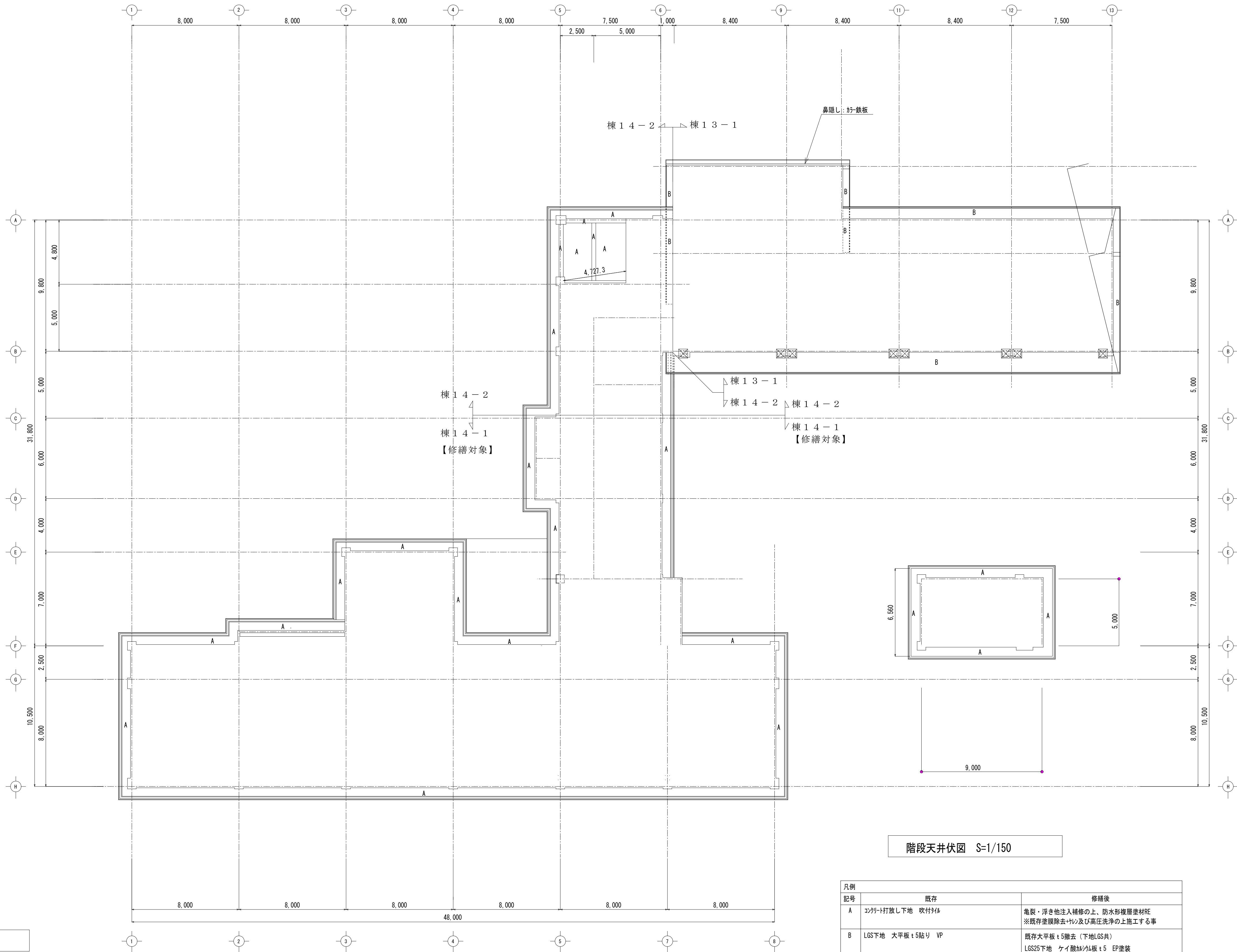
1階天井伏図 S=1/150

凡例		
記号	既存	修繕後
A	コクリト打放し下地 吹付けタイル	塩害・浮き他注入補修の上、防水層修復塗材RC ※既存塗膜除去タイル及び高圧洗浄の上施工する事
B	LGS下地 大平板 t5貼り VP	既存大平板 t5撤去（下地LGS共） LGS25下地 ケイ酸カルシウム板 t5 塗装
B	LGS下地 フレキシブル t4貼り 吹付けタイル	下地調整（R6種）、吹付けタイル ※タイル及び高圧洗浄の上施工する事



凡例		
記号	既存	修繕後
A	コンクリート打放し下地 吹付タイル	亀裂・浮き他注入補修の上、防水形複層塗材RE ※既存塗膜除去・ケレン及び高圧洗浄の上施工する事
B	LGS下地 大平板 t5貼リ VP	既存大平板 t5撤去（下地LGS共） LGS25下地 ケイ酸加減板 t5 EP塗装
B	LGS下地 フレキシブル t4貼リ 吹付タイル	下地調整（RB種）、吹付タイル ※ケレン及び高圧洗浄の上施工する事



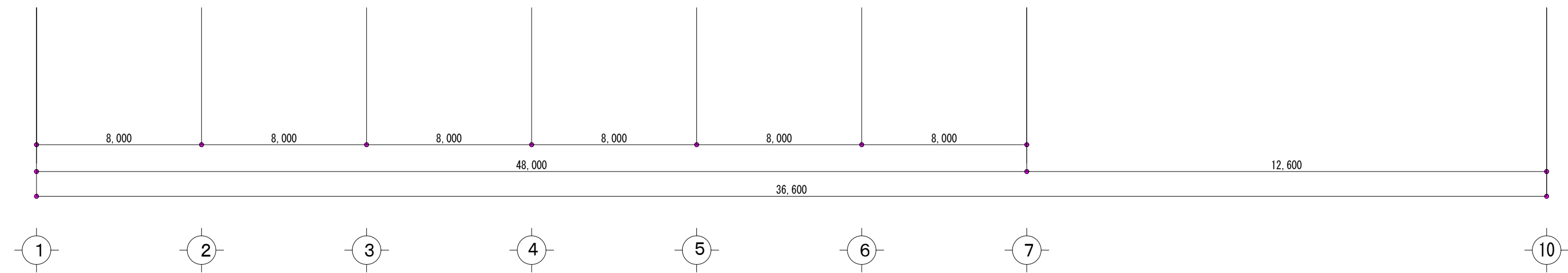
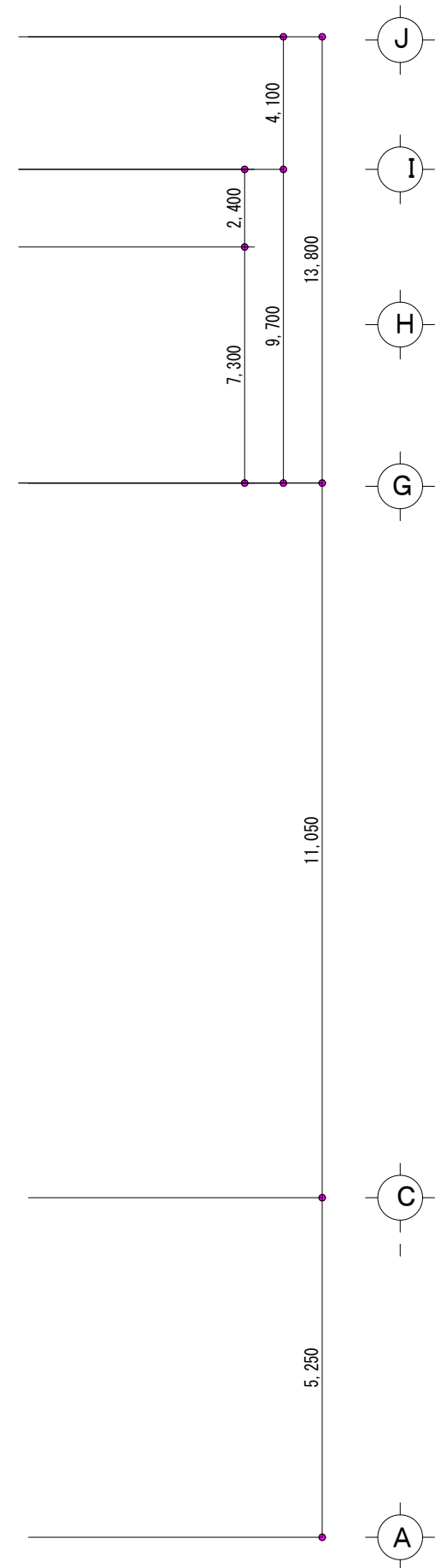
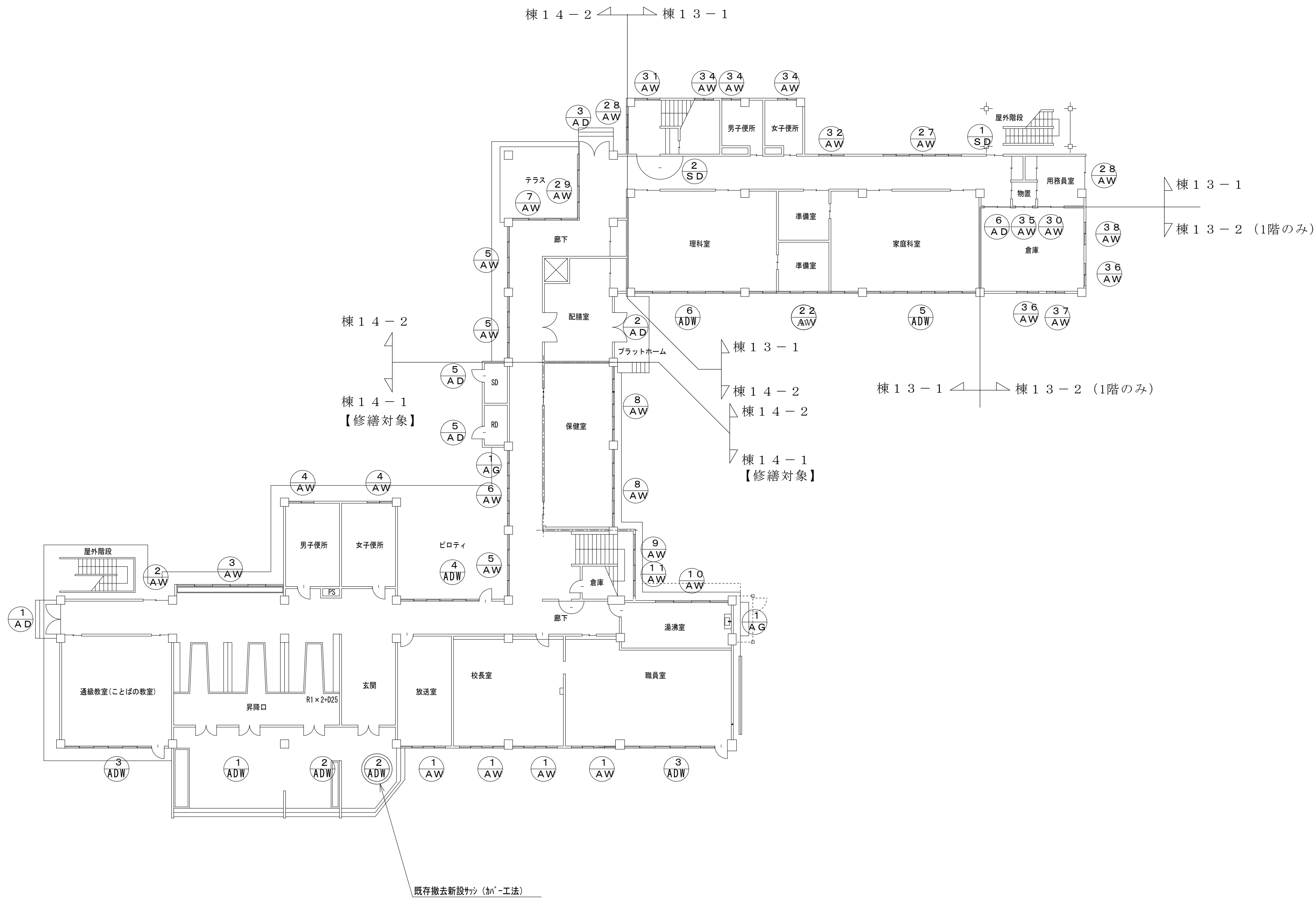
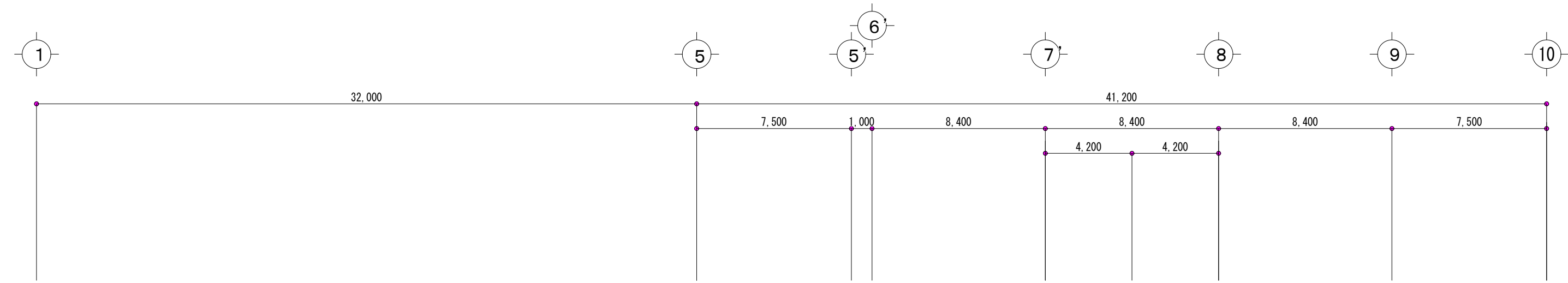
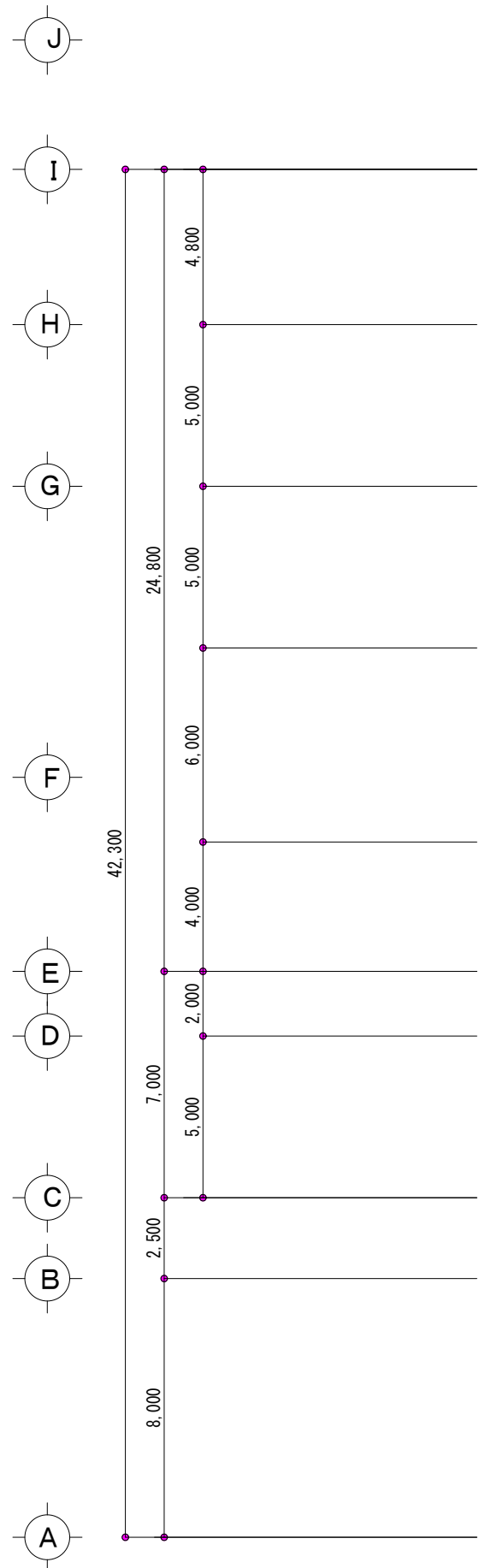
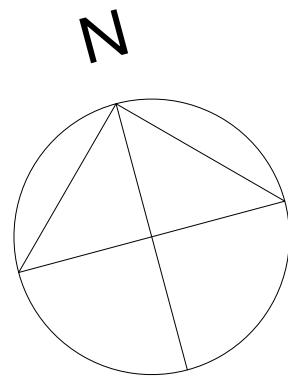


14-1、14-2軒共通 S=1/150

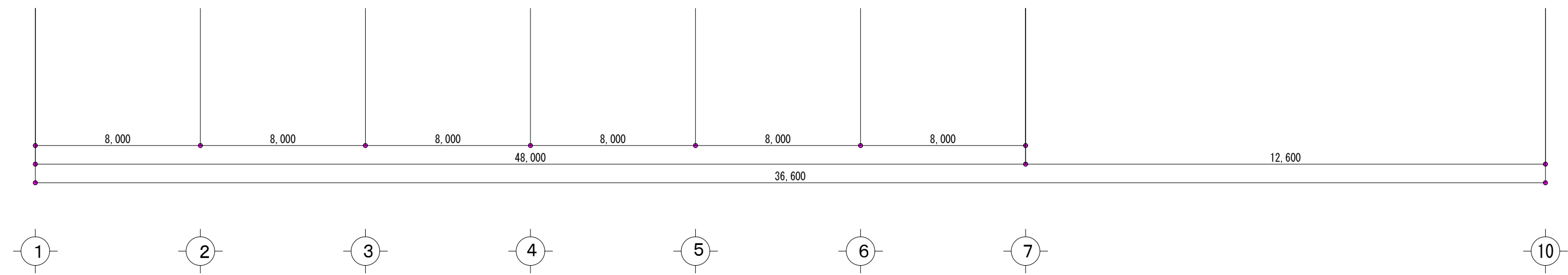
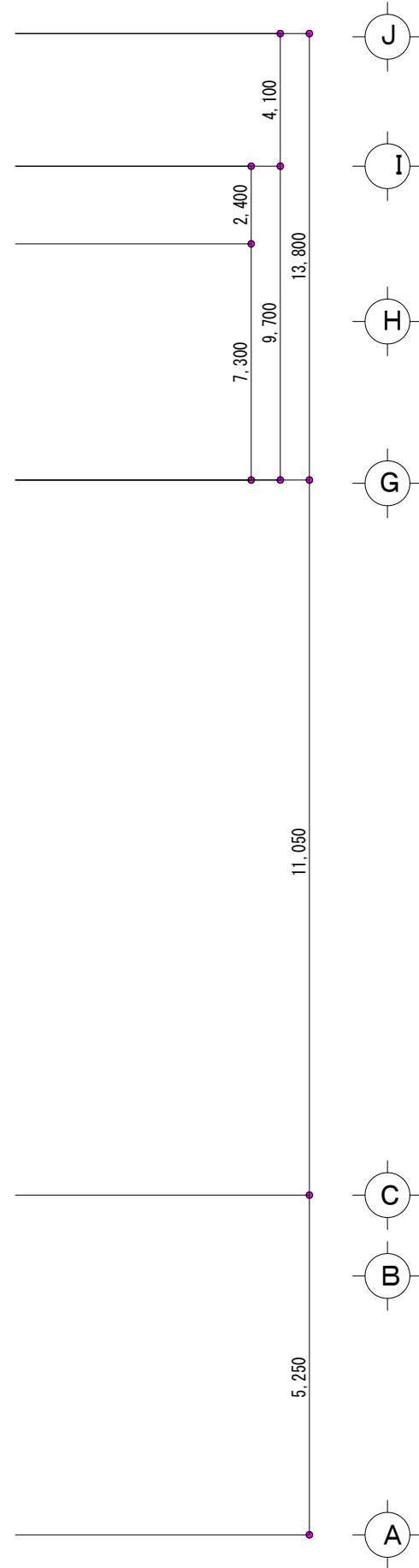
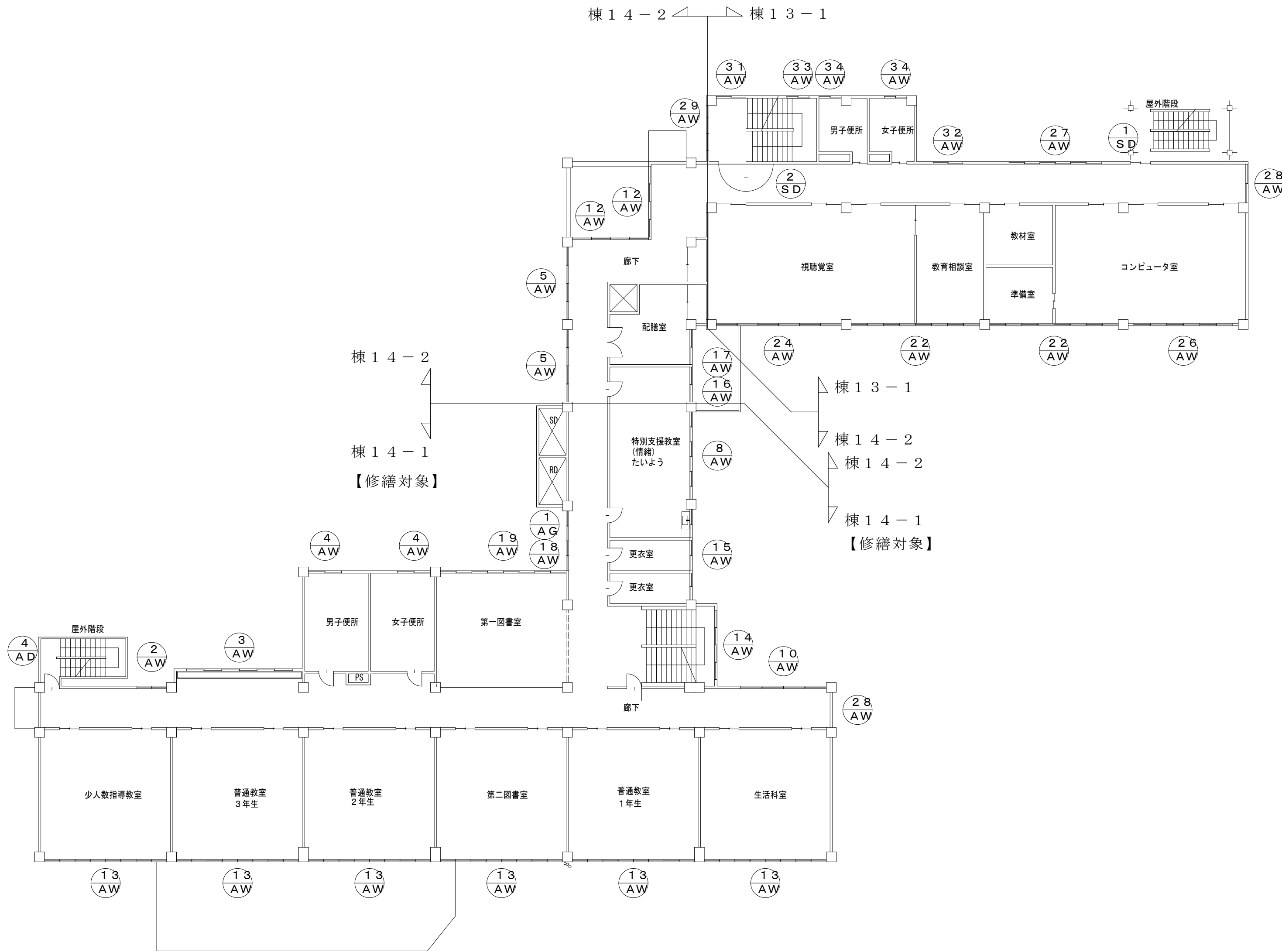
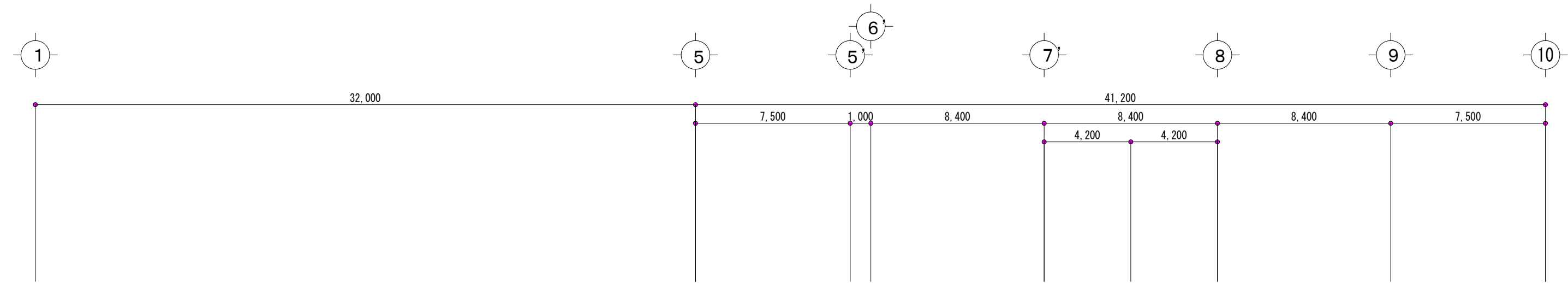
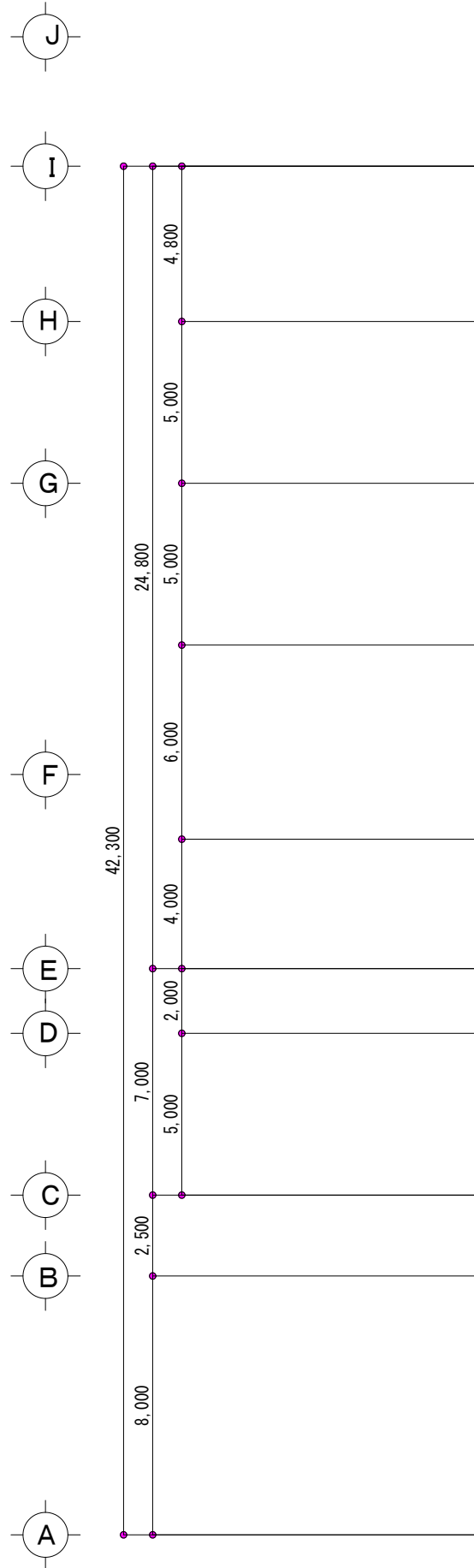
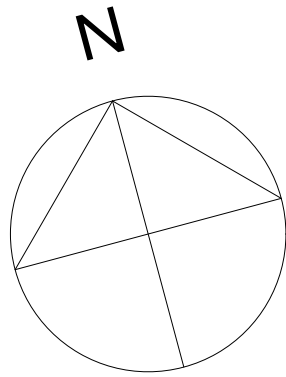
3階天井伏図 S=1/150

階段天井伏図 S=1/150

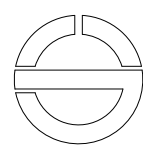
凡例		
記号	既存	修繕後
A	コンクリート打放し下地 吹付け	亀裂・浮き他注入補修の上、防水彩複層塗材RE ※既存塗膜除去+パッキン及び高圧洗浄の上施工する事
B	LGS下地 大平板 t5貼り VP	既存大平板 t5撤去 (下地LGS共) LGS25下地 ケイ酸カルシウム板 t5 EP塗装
B	LGS下地 フレキシブル t4貼り 吹付け	下地調整 (R種) 、吹付け ※パッキン及び高圧洗浄の上施工する事

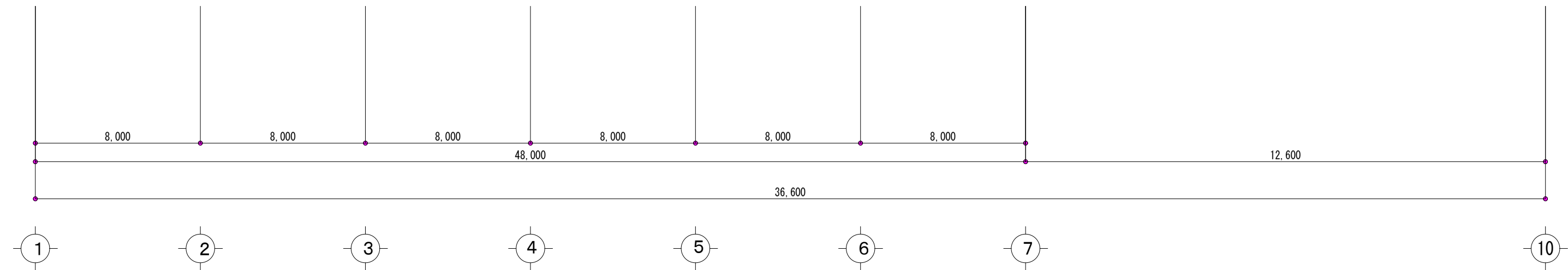
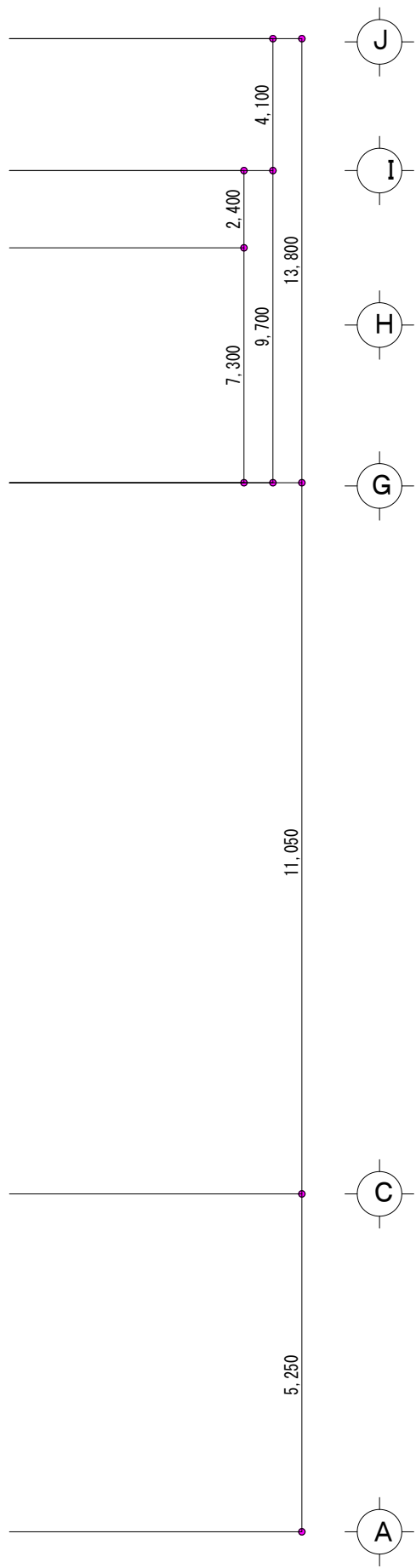
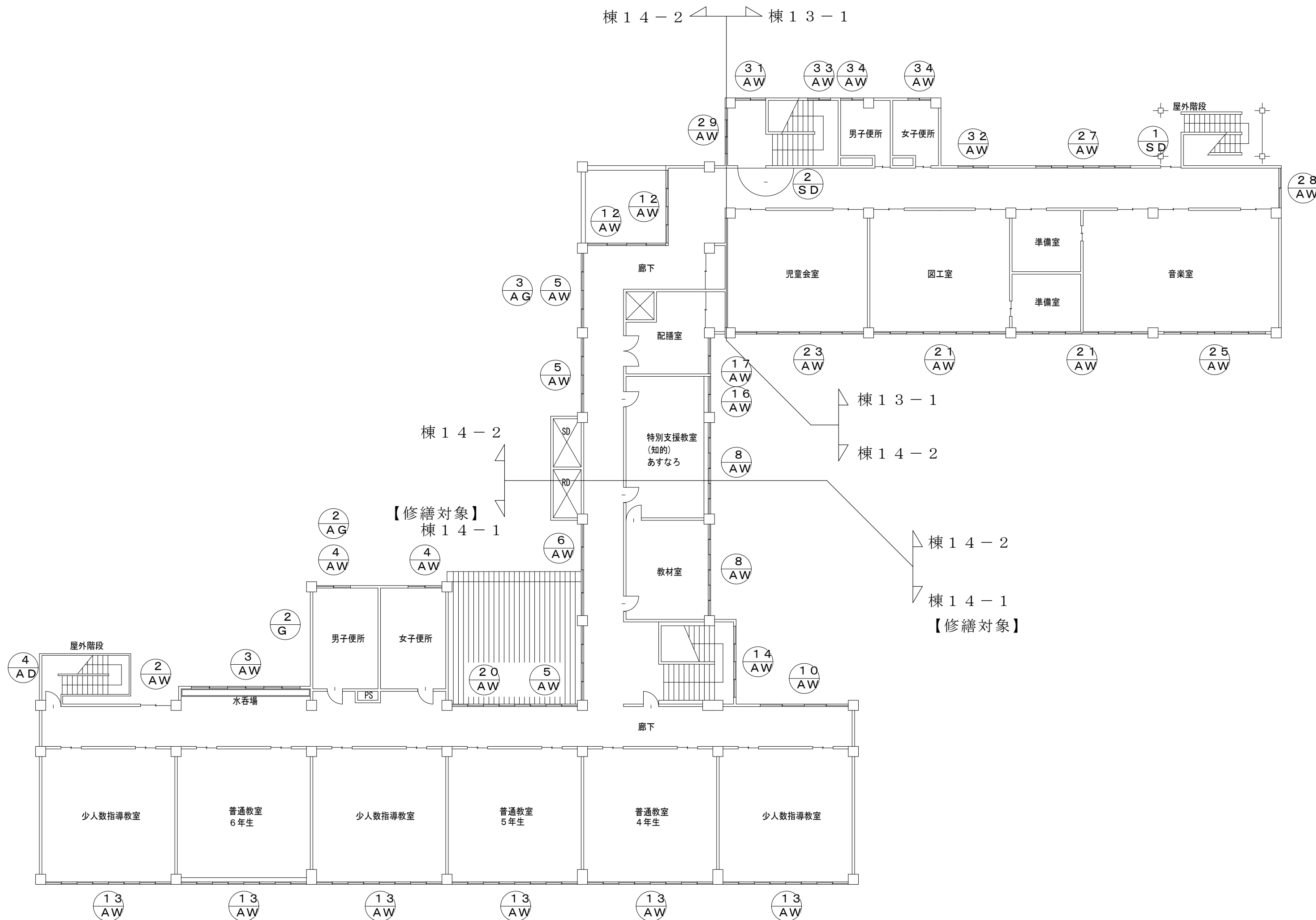
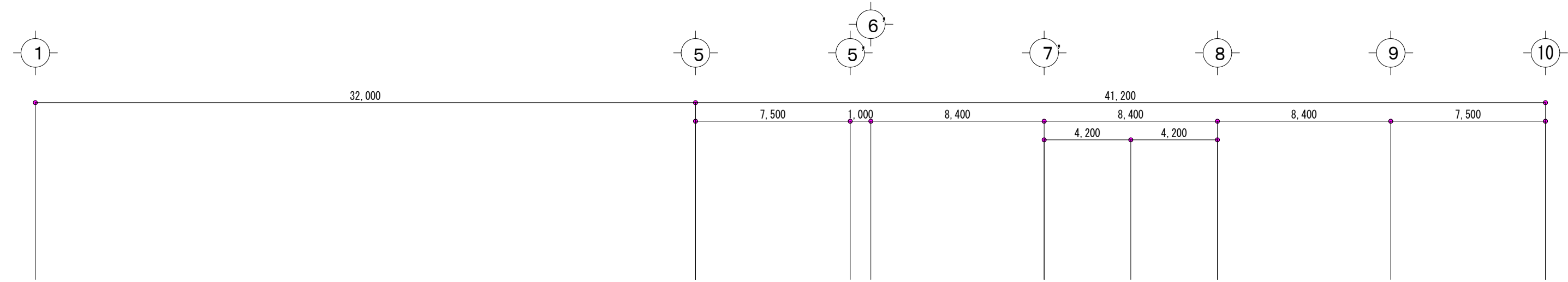
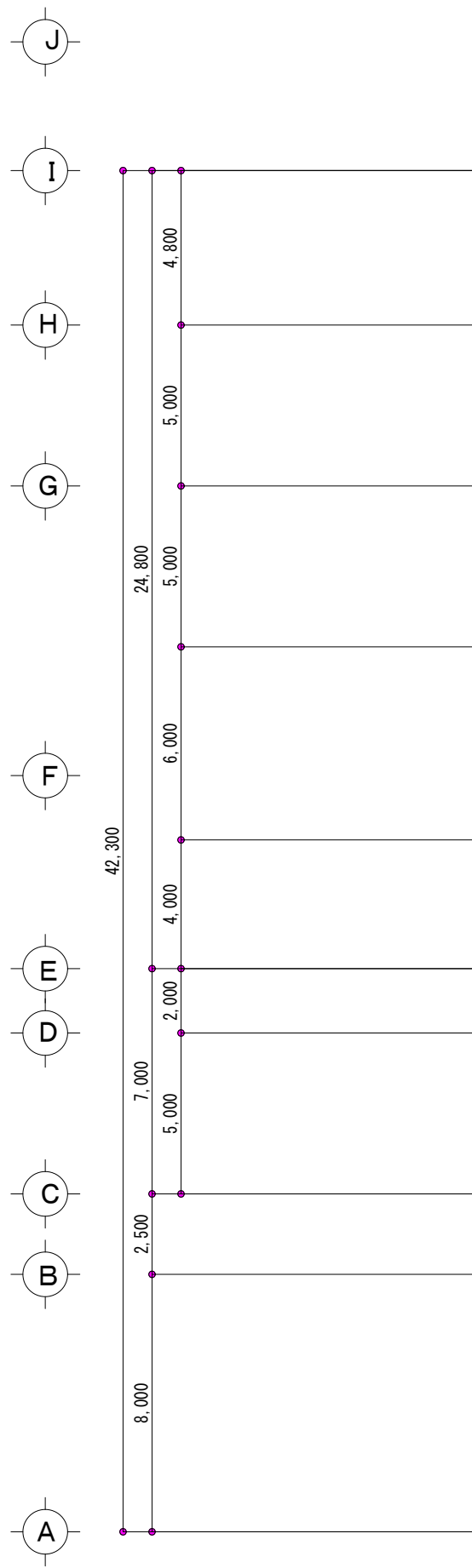
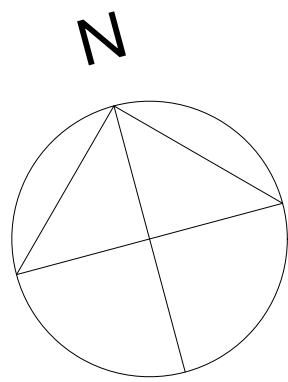


1 階 キ ー プ ラ ン



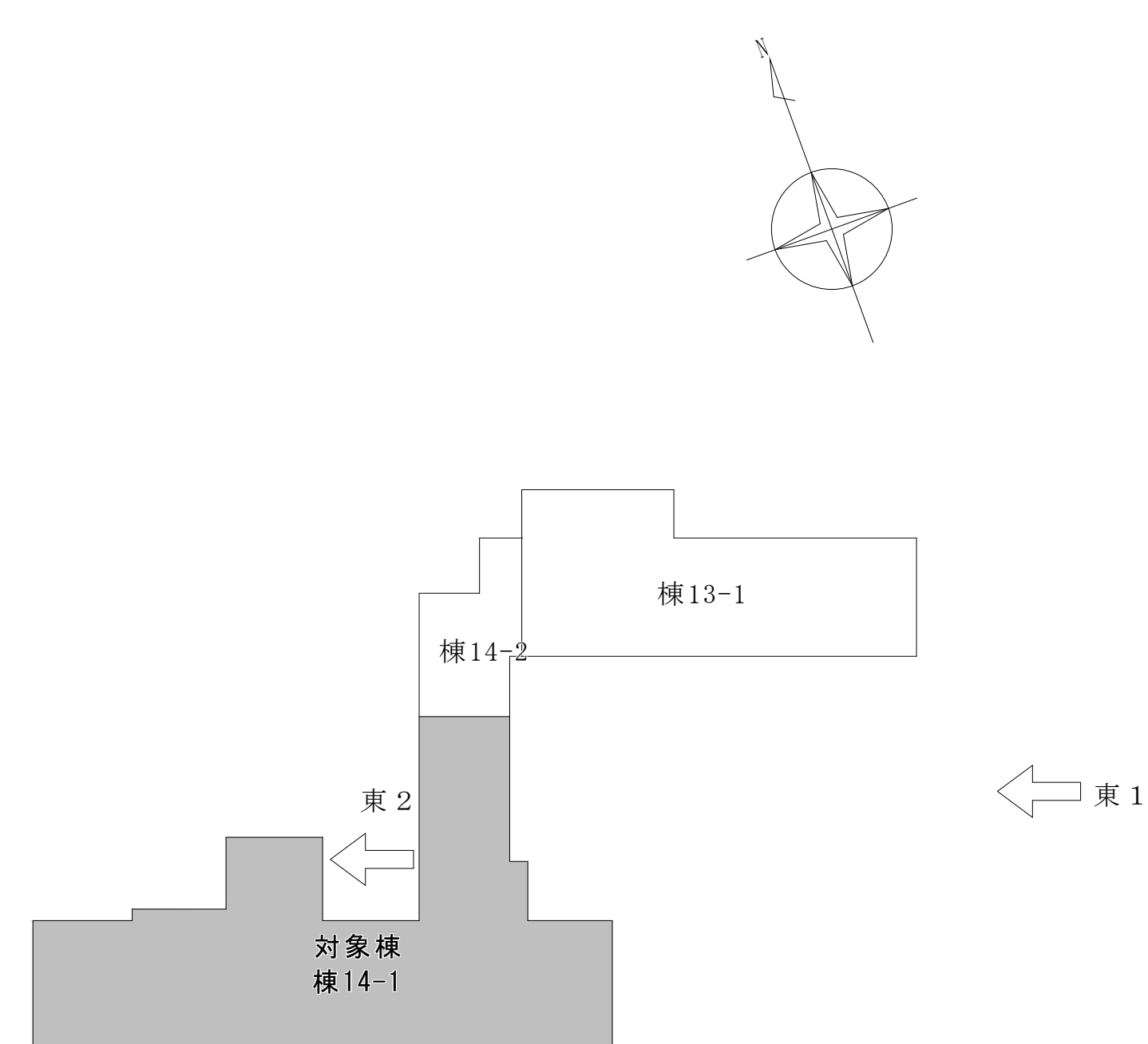
2 階 キ ー プ ラ ン



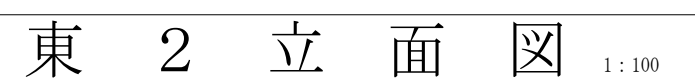


3 階 キ ー プ ラ ン

記号		① ADW		嵌殺し袖窓・ランマ付両開きアルミドア		② ADW		嵌殺し袖窓・ランマ付両開きアルミドア		③ ADW		ランマ付片引き3連アルミサッシ・片開きアルミドア		④ ADW		嵌め殺しアルミサッシ・片開きアルミドア		① AD		両開きアルミドア		④ AD		片開きアルミドア	
室名	員数	昇 降 口		1		昇 降 口 ・ 玄 関		2		通 級 教 室 ・ 職 員 室		2		廊 下		1		廊 下		1		2 ・ 3 階 廊 下		2	
修繕内容		周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）				周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2） 1箇所（玄関）撤去（特残）				周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）				周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）				周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）				周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）			
姿図																									
記号		⑤ AD		片開きスチールドア		① AW		ランマ付片引き2連アルミ窓		② AW		片引きアルミ窓		③ AW		片引き3連アルミ窓		④ AD		片引きアルミ窓		⑤ AW		片引き2連アルミ窓	
室名	員数	S D ・ R D		2		放 送 室 ・ 校 長 室 ・ 職 員 室		4		廊 下		3		水 呑 場		3		男 女 便 所		6		廊 下		2	
修繕内容		周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）				周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）				周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）				周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）				周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）				周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）			
姿図																									
記号		⑥ AW		片引き3連アルミ窓		⑧ AW		ランマ付片引き3連アルミ窓		⑨ AW		嵌殺し4連アルミ窓		⑩ AW		嵌殺し窓付片引き2連アルミ窓		⑪ AW		片引きアルミ窓		⑬ AW		嵌殺し窓付片引き3連アルミ窓	
室名	員数	廊 下		2		保 健 室 ・ 特 別 支 援 教 室 ・ 教 材 室		5		廊 下		1		湯 沸 室 ・ 廊 下		3		倉 庫		1		普通教室・少人数指導教室・第二図書室・生活科		12	
修繕内容		周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）				周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）				周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）				周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）				周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）				周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）			
姿図																									
記号		①④ AW		嵌殺し4連アルミ窓		①⑤ AW		ランマ付片引き3連アルミ窓		①⑧ AW		片引き2連アルミ窓		①⑨ AW		片引き4連アルミ窓		②⑩ AW		嵌殺し窓付片引き3連アルミ窓		① AG		アルミガラリ	
室名	員数	3 階 階 段 室		1		更 衣 室		1		廊 下		1		第 一 図 書 室		1		廊 下		1		湯 沸 室 ・ R D		3	
修繕内容		周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）				周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）				周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）				周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）				周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）				周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）			
姿図																									
記号		② AG		アルミガラリ																					
室名	員数	男 子 便 所		3																					
修繕内容		周囲シーリング 打替：変成シリコン系シーリング（MS-2）																							
姿図																									
記号		② ADW		嵌殺し袖窓・ランマ付両開きアルミドア																					
室名	員数	玄 関		1																					
修繕内容		新設サッシ：内部三方7A3額縁W135*25、DC、レール・ハード 電気錠、ガラス落し、隙間防止																							
姿図																									
		電気錠修繕有																							



東 1 立 面 図 1 : 100



凡例

—— 1. 2. 3... 亀裂を示す

☐ K1. K2. K3... 欠損を示す

☐ B1. B2. B3... 爆裂を示す

☐ F1. F2. F3... 浮きを示す

☐ P1. P2. P3... Pコンを示す

棟14-1	外壁劣化改修 設計数量※	割り増し	外壁劣化改修 調査数量※					
凡例	合計数量 (東西南北)	設計数量	合計数量	(北側)	(南側)	(東側)	(西側)	
1. 亀裂		3 8 4 m	2 4 6 . 1 m	6 5 . 3 m	1 0 1 . 1 m	5 6 . 5 m	2 3 . 2 m	
K 欠損	0.3×0.3程度(0.09㎡程度)	5 8 箇所	4 4 箇所	1 1 箇所	1 2 箇所	9 箇所	1 2 箇所	
	0.5×0.5程度(0.25㎡程度)	1 0 箇所	7 箇所	6 箇所	—	—	1 箇所	
	0.7×0.7程度(0.49㎡程度)	6 箇所	4 箇所	—	1 箇所	1 箇所	2 箇所	
	1.0×1.0程度(1.00㎡未満)	1 箇所	1 箇所	1箇所	—	—	—	
F 浮き(一般部)		—	—	—	—	—	—	
FS 浮き(狭幅部)		—	—	—	—	—	—	
B 爆裂	L=300未満	3 6 箇所	2 7 箇所	5 箇所	1 7 箇所	2 箇所	3 箇所	
	L=600未満	4 箇所	3 箇所	1 箇所	—	—	2 箇所	
	L=1000未満	—	—	—	—	—	—	
	L=1000以上	4 . 6 m	3 . 5 m	—	3 . 5 m	—	—	
P Pコン		2 箇所	1 箇所	—	—	1 箇所	—	

※ 設計数量は調査数量に、調査会社の実績を基に算定した係数を掛けた数量とする（ただし、浮きについては調査数量を採用）

棟14-2	外壁劣化改修 設計数量※		外壁劣化改修 調査数量※				
凡例	合計数量 (東西南北)		合計数量	(北側)	(南側)	(東側)	(西側)
1 亀裂	3.7 m		2.3. 5 m	2. 7 m	—	5. 7 m	1. 5. 1 m
K 欠損	0.3×0.3程度(0.09㎡程度)	1 箇所	1 0 箇所	1 箇所	—	1 箇所	8 箇所
	0.5×0.5程度(0.25㎡程度)	6 箇所	4 箇所	—	—	1 箇所	3 箇所
	0.7×0.7程度(0.49㎡程度)	2 箇所	1 箇所	—	—	—	1 箇所
	1.0×1.0程度(1.00㎡未満)	箇所	箇所	—	—	—	—
F 浮き(一般部)		—	—	—	—	—	—
FS 浮き(狭幅部)		—	—	—	—	—	—
B 爆裂	L=300未満	1 1 箇所	8 箇所	1 箇所	—	—	7 箇所
	L=600未満	箇所	箇所	—	—	—	—
	L=1000未満	2 箇所	1 箇所	—	—	—	1 箇所
	L=1000以上	m	m	—	—	—	—
P Pコン		箇所	箇所	—	—	—	—

※ 設計数量は調査数量に、調査会社の実績を基に算定した係数を掛けた数量とする（ただし、浮きについては調査数量を採用）

棟13-1	外壁劣化改修 設計数量※		外壁劣化改修 調査数量※				
凡例	合計数量 (東西南北)		(北側)		(南側)	(東側)	(西側)
1 亀裂		1 1 1 . 9 m	7 1 . 7 m	2 5 . 1 m	4 5 . 4 m	0 . 6 m	0 . 6 m
K 欠損	0.3×0.3程度(0.09㎡程度)	12箇所	9箇所	2箇所	5箇所	1箇所	1箇所
	0.5×0.5程度(0.25㎡程度)	6箇所	4箇所	—	3箇所	箇所	1箇所
	0.7×0.7程度(0.49㎡程度)	箇所	箇所	—	—	—	—
	1.0×1.0程度(1.00㎡未満)	箇所	箇所	—	—	—	—
F 浮き(一般部)		3 . 7 m ²	3 . 7 m ²	2 . 9 m ²	0 . 2 m ²	0 . 4 m ²	0 . 2 m ²
FS 浮き(狭幅部)		—	—	—	—	—	—
B 爆裂	L=300未満	10箇所	7箇所	6箇所	1箇所	箇所	箇所
	L=600未満	箇所	箇所	—	—	—	—
	L=1000未満	箇所	箇所	—	—	—	箇所
	L=1000以上	m	m	—	—	—	—
P Pコン		3箇所	2箇所	1箇所	1箇所	—	—

※ 設計数量は調査数量に、調査会社の実績を基に算定した係数を掛けた数量とする（ただし、浮きについては調査数量を採用）

[illegible][illegible]

項 目		特 記 事 項																																		
一般共通事項	1 機材等	本規格で使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれと同等、若しくは同等以上のものとする。ただし、監督員の承認を受ける。																																		
	2 機材の品質・性能証明	使用する材料のホルムアルデヒド仕様が、日本産電機規格及び日本森林規格のF☆☆☆☆規格品、建築材料協会規格適合品または四国品、化学物質等製品安全データシート等にホルムアルデヒド不含有が明示されたものとする。 本規格の手順上には主要材メーカーリストを提出し、監督員の承認を受ける。 また、「建築材料・設備機材等製品性能評価事業」(社)公共建築協会によって所定の品質・性能を有することの証明を付し、機材等を使用する場合は、評価書等の写しを標準仕様書第1編 1.4.2(3)に定める品質及び性能を有することの証明となる資料とすることができる。																																		
	3 電気保安技術者	電気工作に係る事項においては、電気保安技術者を置くものとする。																																		
	4 修繕用電力等	本規格に必要なる機材、水等の費用は、引渡し時点まですべて受注者の負担とする。																																		
	5 修繕用設備物	構内について○が◎出来る、出来ない																																		
	6 監督員事務所	◎ 設けない ・ 別契約の保証員事務所が設置したものは、無償で使用する。 ・ 本規格で設置する。																																		
8 附設施工	7 足場、さん機	なお、付帯増設を行う場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月改訂)によるものと、二段階より上及び幅本の機能有するものとを兼ねなければならない。																																		
	8 附設施工	附設施工における設備機能の固定は、「建築設備設計指針・施工指針 2014版」(〃(株)建築研究所監製)による。本工事の指図分階は(◎)特定の施設、一般設備施設(〃)使用係数は1とし、設計採用水平位置は下表のとおりとする。なお、(〃)内の設備は防炎支持式の機器の場合に適用される。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="2">設計採用標準位置</th> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般設備施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層廊、屋上及び塔屋</td> <td>2.0 (2.0)</td> <td>1.5 (2.0)</td> <td>1.5 (2.0)</td> <td>1.0 (1.5)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中間廊</td> <td>1.5 (1.5)</td> <td>1.0 (1.5)</td> <td>1.0 (1.5)</td> <td>0.6 (1.0)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一階及び地下階</td> <td></td> <td></td> <td>1.0 (1.0)</td> <td>0.6 (1.0)</td> <td>0.6 (1.0)</td> <td>0.4 (0.6)</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所	設計採用標準位置		特定の施設		一般設備施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層廊、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)			中間廊	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)			一階及び地下階			1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)
	設置場所	設計採用標準位置		特定の施設		一般設備施設																														
重要機器		一般機器	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																														
上層廊、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)																																
中間廊	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)																																
一階及び地下階			1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)																														
	重要機器分類	・ 配電盤 ・ 配電装置 ・ UPS装置 ・ 直流電源装置 ・ 交機機 ・ 受電機 (自立型) ・ 中央監視装置 ・ 情報通信ラック 重量が100kg以上の軽便な機器 (標準仕様の適用を受けるものを除く) においては、設備機器の製造者の指定する重量に付くことでもよいものとする。																																		
9 天井機器の取付方法	天井機器の取付方法は、標準仕様書第2編 2.14.3に定めたとおりとするが、やむを得ず天井地下で支持する場合には、脱落防止の措置を施すに依ること。																																			

項 目	電気設備修繕	建築修繕	機械設備修繕	その他修繕
家賃通部の増強及びスリープ（スリープ）				
〃（補 強）				
天井増設吊钩具（量出し）				
〃（下地切込）				
〃（仕上げ材切込）				
〃（天井開口補強）				
換気扇類（天井扇及び換気扇）				
〃（空調換気扇）				
〃（有圧換気扇）				
〃（電源供給）				
〃（スイッチ）				
受水槽、浄化槽等（制御盤）				
〃（制御盤以降の配管記録）				
〃（電源供給）				
基 礎（キュービクル用）				
〃（自立型分電盤用）				
〃（自立型アンテナ用）				
〃（外灯用）				
天井点検口				
観望台、実験台等（電源供給）				

	2.5Y9/1	10YR2/1	メーカー標準色
電線管、プルボックス等			
屋内型（分電盤、動力盤、端子盤、機器収容箱）			
屋外型（分電盤、動力盤、端子盤、機器収容箱）			
キュービクル			

施し、関係法令に基づき適正に取扱いを行うこと。

機器の取付け・取外し、記録の改修及び更新を行う場合は、下表の事前確認を行うものとする。

工事		機器の取付け・取外し				記録の改修
項目	照明器具	スイッチ	コンセント	分電盤等	制御盤	及び更新
回路の確認						○
配線の確認						○
機器と制御盤等の対照						○
照明点滅回路の確認						○
制御回路の確認						○

気圧電圧（ディーゼル、ガソリンエンジン、ガスタービン及びマイクロガスタービン）の事前確認は、下表のとおり。

工事		機器の取付け・取外し				記録の改修
項目	発電機	原動機	配電盤	補機附属装置	及び更新	
機器の確認						
動作の確認						
細部の確認						
運転状態における細部の確認						

作業前には、下表の事前確認を行うものとする。

工事		機器の取付け・取外し		記録の改修及び更新
項目	結束機器等	主装置等		
系統の確認				
配線の確認				
結束機器等と主装置等の対照				

電気的仕様	入力電圧（・ 単相2線式100V・ 単相2線式200V・ 三相3線式200V）
電気的仕様	充電方式（・ 普通充電装置・ 急速充電装置）
電気的仕様	ケーブル材質（・ 銅芯線・ ステンレス製） 形 式（・ 屋外型・ 屋内型）
その他	充電用コネクタ付属ケーブル（10m）

1 排水路にター	電気方式 (・ 200V ・ 100V) 制御方式 (・ 制御器 (温度及び水分センサー) ・ 制御器 (温度センサーのみ) ・ 自己制御型 ・ 制御なし)
2 電気暖房器	電気方式 (・ 200V ・ 100V) 材 質 (・ 銅製鋼 ・ ステンレス) 形 式 (・ 板式暖房形 ・ 立式暖房形 ・ 遠赤外線式天井形) 温度制御 (・ 有 ・ 無)
3 その他	電気方式 (・ 200V ・ 100V) 施工場所及び要機 ((m))

1. 電圧方式	高圧（・三相3線式6kV） 低圧（・三相3線式100V/100V・三相3線式200V）
2. 配電盤	形式（・標準3線式100V/100V・標準3線式200V） 形式（・標準3線式100V/100V・標準3線式200V）
3. 主遮断装置	形式（・高圧交流遮断器（CB）・高圧ヒューズ及び高圧負荷開閉器（PF-S）） 形式（・高圧交流遮断器（CB）・高圧ヒューズ及び高圧負荷開閉器（PF-S））
4. 変圧器	定格遮断電流（kA） 形式（・油入式・乾式） 変圧器定格容量（300kVA）
5. 進相用コンデンサ	・高圧用（・6%・13%）・低圧用
6. リアクトル	・6%・13%

電力行政検査	1 直流充電装置	用 途 (・非常用照明器具電源 ・受電設備制御電源用 ・受電設備制御専用 ・非常用照明器具専用) 蓄電池 (・鉛蓄電池 (・ H S ・ C S ・ M S E ・ 長寿命形 M S E) ・アルカリ蓄電池 (・ A H ・ A M H) ・ リチウムイオン蓄電池)
	2 交流無停電電源装置	用 途 (・非常用照明器具電源) 蓄電池 (・鉛蓄電池 (・ H S ・ C S ・ M S E ・ 長寿命形 M S E) ・アルカリ蓄電池 (・ A H ・ A M H) ・ リチウムイオン蓄電池)

1	発電機	形 式 (・ 簡易形 ・ キュービクル式 ・ オープン形) 電気方式 三相3線式 50Hz 電圧200V 定格出力 kVA 運転時間 時間
2	原動機	種 類 (・ ディーゼル ・ ガスタービン) 定格出力 kW以上 (P S以上) 始動方式 (・ 電気式 ・ 空気式) 冷却方式 (・ ラジエータ式 ・ 水冷循環式)
3	燃 料	種 類 (・ 軽油 ・ 灯油 ・ A重油) ・ 燃料小出槽 L 主貯油槽 (・ なし ・ あり)
4	太陽光発電装置	太陽電池レイアウト出力 kW パワーコンディショナ 相 線式 定格電圧 V 定格出力 kW 自立運転 (・ 有 ・ 無) 蓄電池 (・ 有 (定格容量 kWh) ・ 無) 連 系 (・ 有 ・ 無)
5	系統連系	

1 工事範囲	・ 配線 ・ (全部 ・ 端子線以外) ・ 配管 ・ (全部 ・ 壁の上りり、下りり部分)
2 種 類	インターフェース種別 (10BASE-T ・ 10BASE-F ・ 100BASE-TX ・ 100BASE-FX ・ 100BASE-T ・ 100BASE-SX ・ 100BASE-LX ・ 2.5GBASE-T ・ 5GBASE-T ・ 10GBASE-SR ・ 10GBASE-LR ・ 10GBASE-ER ・ 10GBASE-LX4 ・ 10GBASE-T)

機 械 材 料 調 査	① 電話交換機	形 式：・ボタン電話装置、デジタルPBX、・IP-PBX、・VoIPサーバ） 回線数： 回線（ 回線） 内線（ 回線） 電話機1台につき、下記のものを要する。 ・EM-TETTER-Q.992-C (3m) ・EM-EXT-O.4-2P (3m) ・標準ワイヤロケット (2m) ・一般電話用1個へ、納入する、取り付ける。 ・銅糸巻機、・アルミ製
	② 電話機の配線	
	③ ローテーションアウトレット（電卓机）	
	④ 床空容許接地	・本工事、別建工事

情報表示設備	1 出源表示装置 表示方式（ ・ LED（2モード形） ・ LED（4モード形） ・ 液晶式） 2 マルチサイン装置 形 式（ ・ 壁掛形 ・ 自立形） 表示方式（ ・ LED（4色） ・ LED（フルカラー） ・ 液晶式） 3 時刻表示 観 時 針（ ・ 防炎壁懸形 ・ 壁掛形） （ ・ 電子式チャイム継込 ・ プログラムタイマ継込）
--------	---

映像・音響機器	・ VTR (・ DVD ・ BD ・ S-VHS ・) ・ プロジェクター (・ 前面投射式 ・ 背面投射式)
2 音響機器	・ プレーヤー (・ CD ・ オーディオレコーダー ・ MD ・ カセットデッキ)

扩声设备	1 增幅器	用途 (○一般放送用 · 一般放送兼非常放送用) 形式 (· 壁挂形 · 桌上形 · 防災型壁挂形)
------	-------	--

1 音声誘導	検出部（無線式・磁気式・画像認識）
2 インターホン	形式（テレビ・外部受付用・身障者用・夜間受付用・相対式・複合式）
3 トイレ等呼出	呼出表示器（防災避難用・壁掛形・埋込形）・通話機能

1 アンテナ	形 式 (・ AU-1 ・ AU-2 ・ CSBSA-60 ・ CSBSA-75 ・ CSBSA-90 ・ SHA-75 ・ SHA-90)
2 アンテナマスト	形 式 (・ 壁面取付形 ・ 柱上取付形 ・ 自立形)
3 機器	規 格 (・ S-H対応 ・ C-S対応 ・ 家庭用)
4 その他	電界強度測定及び受信調査 (全チャンネル) を実施とする。

1 モニタ	形 式 (・ 白黒方式 ・ カラー方式) 解像度 (・ 1024×768以上 ・ その他 (以上))
2 伝送方式	種 類 (・ ネットワーク ・ アナログ ・ デジタル回路)
3 録画装置	デジタル記憶用媒体容量 (・ 250GB ・ 500GB ・ 1TB ・ 2TB) 熱制御正復能 (・ 概時計 ・ 時刻同期装置 ・ その他 ()) 録画条件 (※ 要図参照)
1 機 器	・ 管制盤 ・ 検知器 (・ 光線式 ・ ループコイル式) ・ 信号灯 ・ 警報灯 ・ 発着機 ・ カーゲート ・ カードリーダー
1 認証方式	・ 磁気カードリーダー ○ テンキーパッド ・ ICカードリーダー ・ バイオメトリックス ・ ハンズフリー認証
2 その他	・ 接地工事 (・ 本工事 ・ 別途)

1 自動火災報知設備	・受信機（・雙形、・防災報知形） ・受信機 ・総合型（・屋内用火災報知器） ・専用形（・専用露出形） ・火災通報装置 ・消防機関へ通報する火災報知設備（M型受信機）
2 自動防犯設備	○運動制御型（○雙形、・防災報知形） ・自動防犯装置（・防火用ラッチ式 ・防火用閉鎖式 ・防火シャッター用 ・防盜パンパー用） ・非常ベル（自動式・押し金を含む） ・非常放送機
3 非常警報設備	・受信機（・雙形、・防災報知形）
4 ガス漏れ火災警報設備	・検知器（・都市ガス用 ・液化石油ガス用） 定格電圧（・AC100V ・DC24V） ・電池式 ・AC電源式（・単線形、・運動形）
5 住宅用火災警報器	

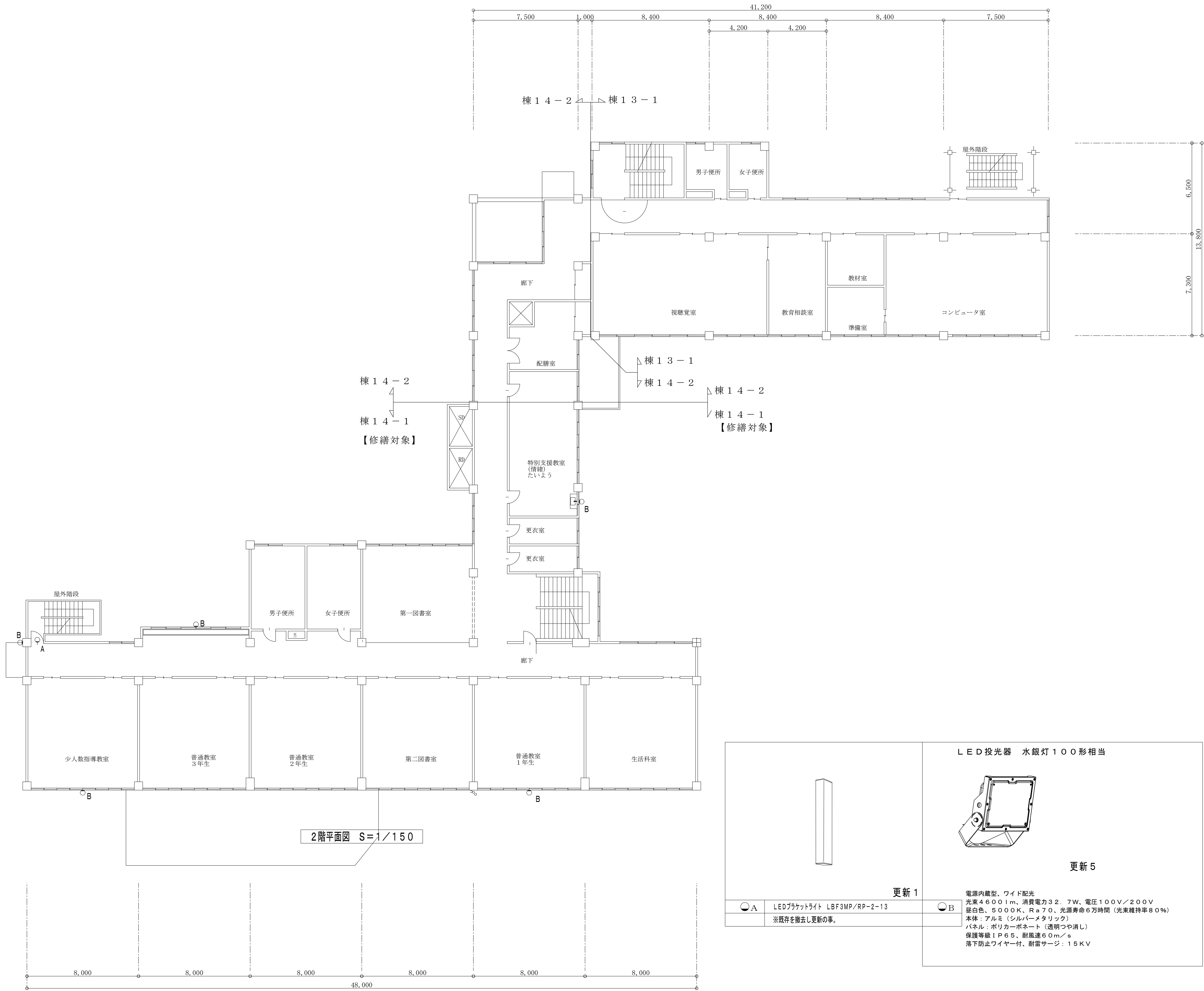
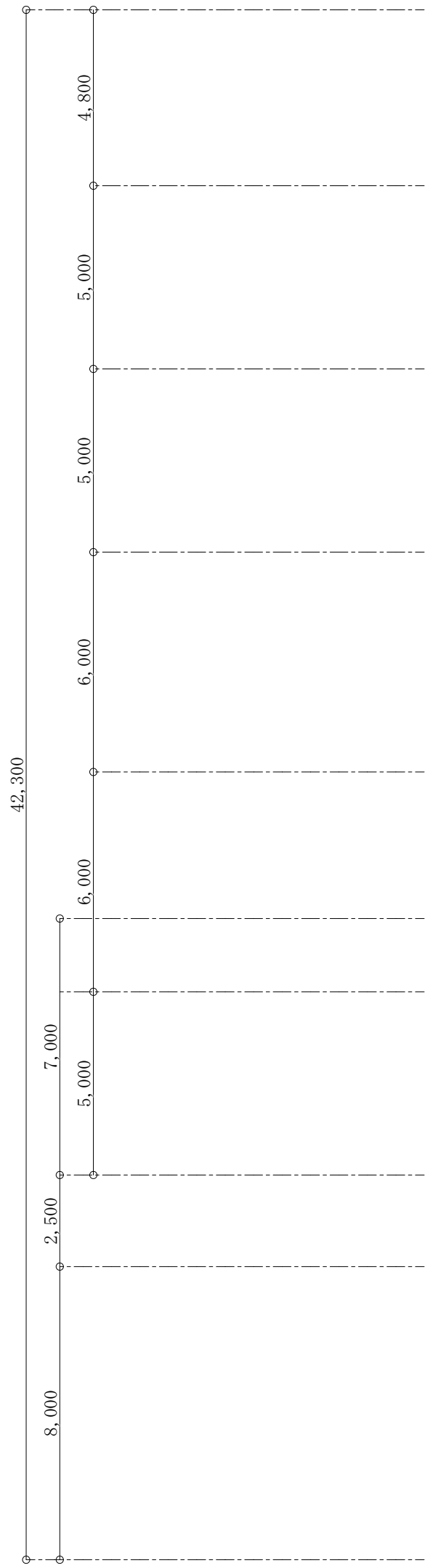
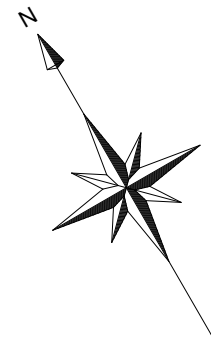
1	監視制御対象設備	動力設備・受変電設備・発電設備・火災検知設備
2	表示操作部	形式・壁掛形・自立形
3	監視制御装置	構成機器（・グラフィックパネル・内蔵型液晶ディスプレイ・操作卓 ・監視操作装置・信号受信装置・伝送装置・分散処理装置・中央処理装置・補助記憶装置・記録装置・電源装置・機壳用字印装置）

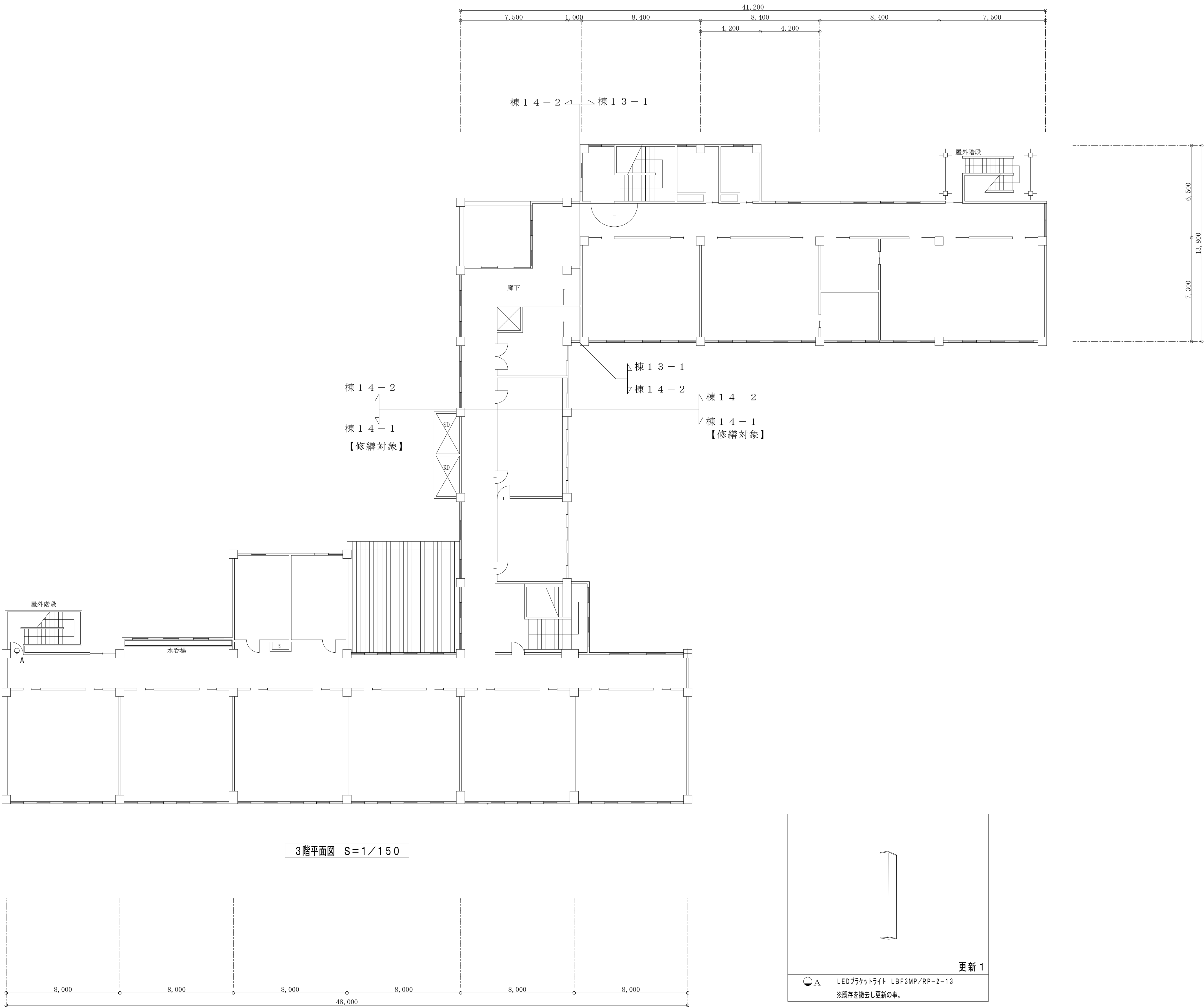
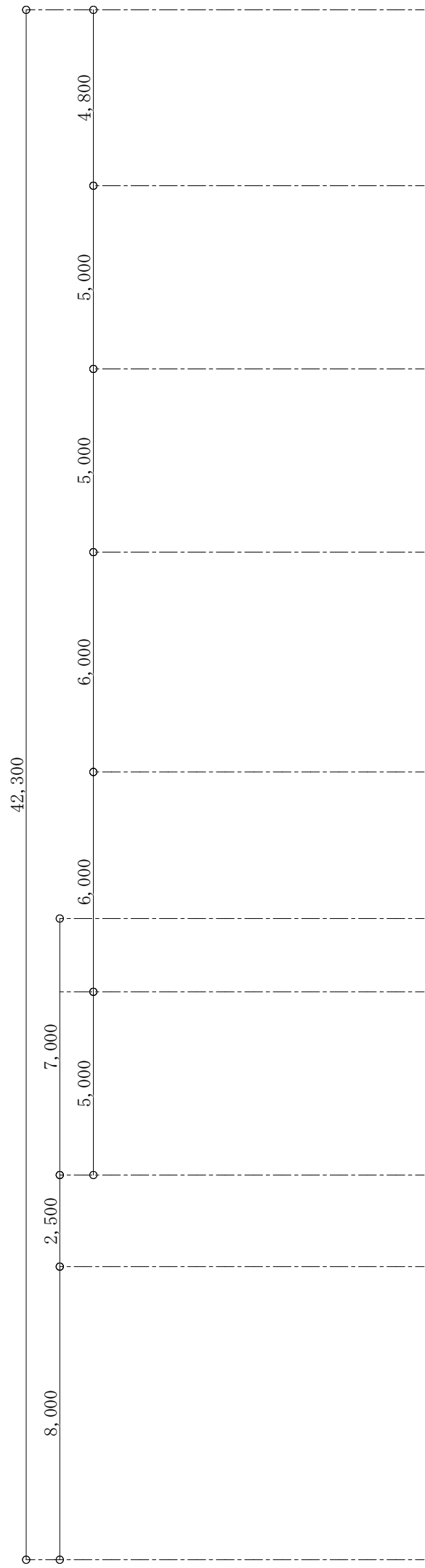
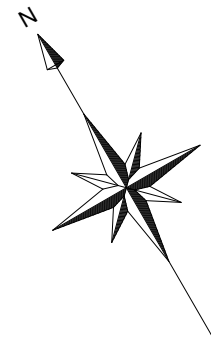
1 工事範囲	・ 管路 ・ 配線 ・ 機器類
2 電気方式	・ 高圧 三相3線式6kV ・ 低圧 (- 三相3線式200V ・ 単相3線式100V/200V ・ 単相2線式1.0-0V)
3 敷設方式	・ 地中埋設式 (・ FEP ・ PEG) ・ 架設線式
4 引込柱	・ コンクリート柱 ・ バンザマスト柱 ・ 鋼管柱
5 柱上機器	・ 高圧負荷開閉器 (- 一般用 ・ 重載用型) VT内蔵 ・ LA内蔵) ・ 地絡検電器 (・ 方向性 ・ 無方向性) SOG ・ 避雷器 (・ 一般用 ・ 耐塩用) ・ 高圧カットアウト (- 一般用 ・ 耐塩用)
6 外 灯	電 圧 (・ 100V ・ 200V)
7 引込開閉装置	基 礎 (・ 本工事 ・ 別途工事) 形 式 (・ 壁掛形 ・ 自立形 ・ 柱取付形)

1 工事範囲	・ 管路 ・ 配線 ・ 機器類
2 用 途	・ 電話用 ・ 通信情報用 ・ 消防用 ・ その他
3 敷設方式	・ 地中埋設式 (・ FEP ・ PEG) ・ 架空棒式

工事範囲	事前調査・機發類
------	----------

名 称	測 点	取付高 (mm)	名 称	測 点	取付高 (mm)
集合保安装置	天井下～上端	200	壁付型時計	天井下～上端	200
引込用開閉器	床下～中心	1,800～2,200	端子箱(廊下、室内)	床下～下端	300
分電盤	床下～上端	上端1,900以下	〃 (E.P.S等)	床下～中心	上端1,900以下
ホーミング電盤	〃	上端2,200以下	壁付アウトレット(一 般)	〃	300
			〃 (和 室)	〃	150～200
スイッチ (一 般)	床下～中心	1,300	壁掛け時計	床下～中心	1,500(上端2,000以下)
〃 (和 室)	〃	1,200	子母機	〃	2,300
〃 (高齢者)	〃	1,100	壁掛けスピーカ	〃	2,300
コンセント(一 般)	床下～中心	300	壁付アンテナ	〃	1,300
〃 (和 室)	〃	150～200	壁付インターホン	〃	1,300
〃 (台 上)	台上～中心	150	壁付アウトレット(一 般)	〃	300
〃 (ファン用)	床下～下端	ファン下端	〃 (和 室)	〃	150～200
〃 (厨 房)	床下～中心	500	機器収納箱	天井下～上端	200
〃 (茶 庫)	〃	500	直列ユニット(一 般)	床下～中心	300
〃 (機械室)	〃	500	〃 (和 室)	〃	150～200
〃 (廊 外)	〃	500			
〃 (専用機器)	〃	機器により設定			
ブラケット(一 般)	〃	2,100～2,300			
〃 (鏡 場)	〃	2,500			
〃 (鏡 用)	鏡上～中心	150			
避難口誘導灯	床下～下端	1,500以下	表示板	壁付～中心	2,300
廊下通路誘導灯	床下～上端	1,000以下	壁付受話機	〃	1,300
			ベル、ブザー、チャイム	〃	2,300
			壁付押しボタン (一 般)	〃	1,300
			〃 (身障者支援)	〃	900
煙感知制御盤	床下～上端	上端1,900以下	受信機	床下～操作部	800～1,500
閉鎖装置	床下～中心	1,500	副受信機	〃	800～1,500
電磁閉鎖用ボタン	〃	1,300	機器収納箱	〃	800～1,500
			表示板	〃	800～1,500
壁付インターホン(一般機)	床下～中心	1,300	表示灯	床下～中心	2,100
〃 (玄関子機)	〃	1,300	ベル	〃	2,300
非常表示灯 (便所用)	〃	JIS S0026	液化石油ガス用検知器	床下～上端	250
廊下表示灯	床下～上端	壁面上部	都市ガス用検知器(軽質)	天井下～下端	150
復旧ボタン	〃	1,300	〃 (重質)	床下～上端	250
スイッチ (身障者)	床下～中心	1,100			

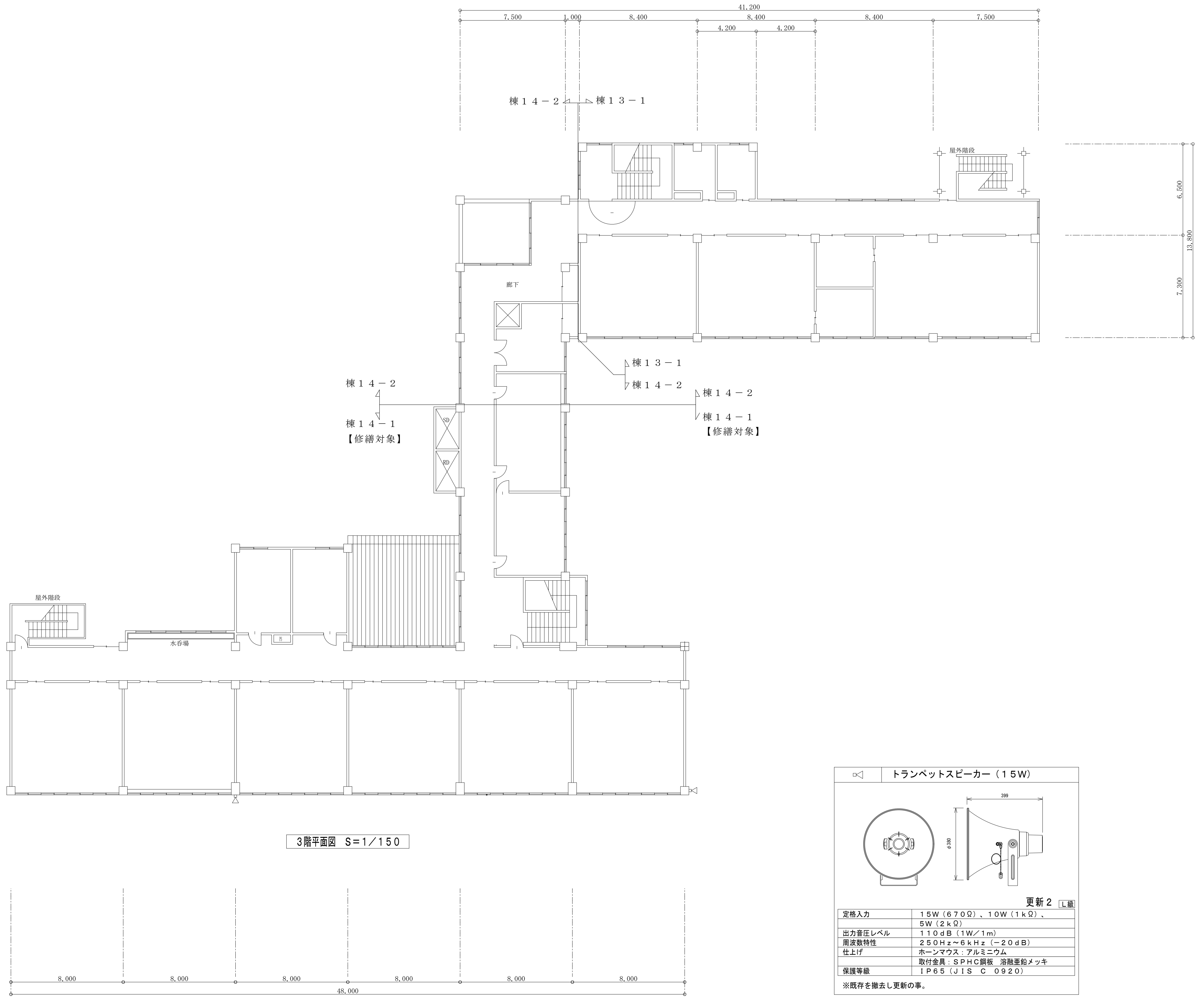
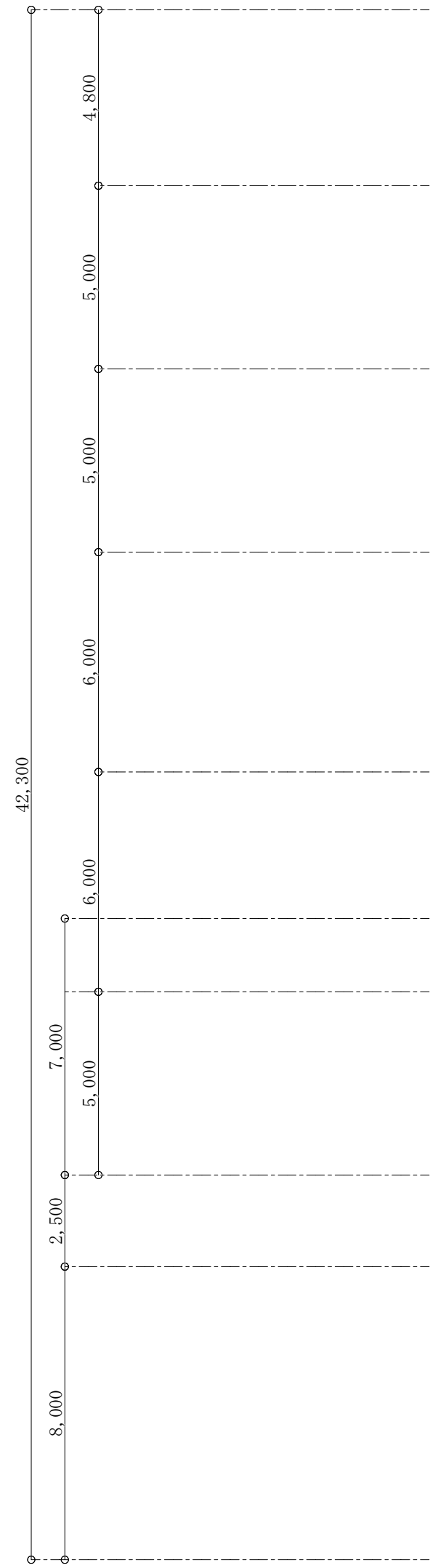




3階平面図 S=1/150

更新 1

	LEDブラケットライト LBF3MP/RP-2-13
※既存を撤去し更新の事。	



更新 2 L 級

定格入力	15W (670Ω) 、 10W (1kΩ) 、 5W (2kΩ)
------	--------------------------------------

出力音圧レベル	110dB (1W/1m)
---------	---------------

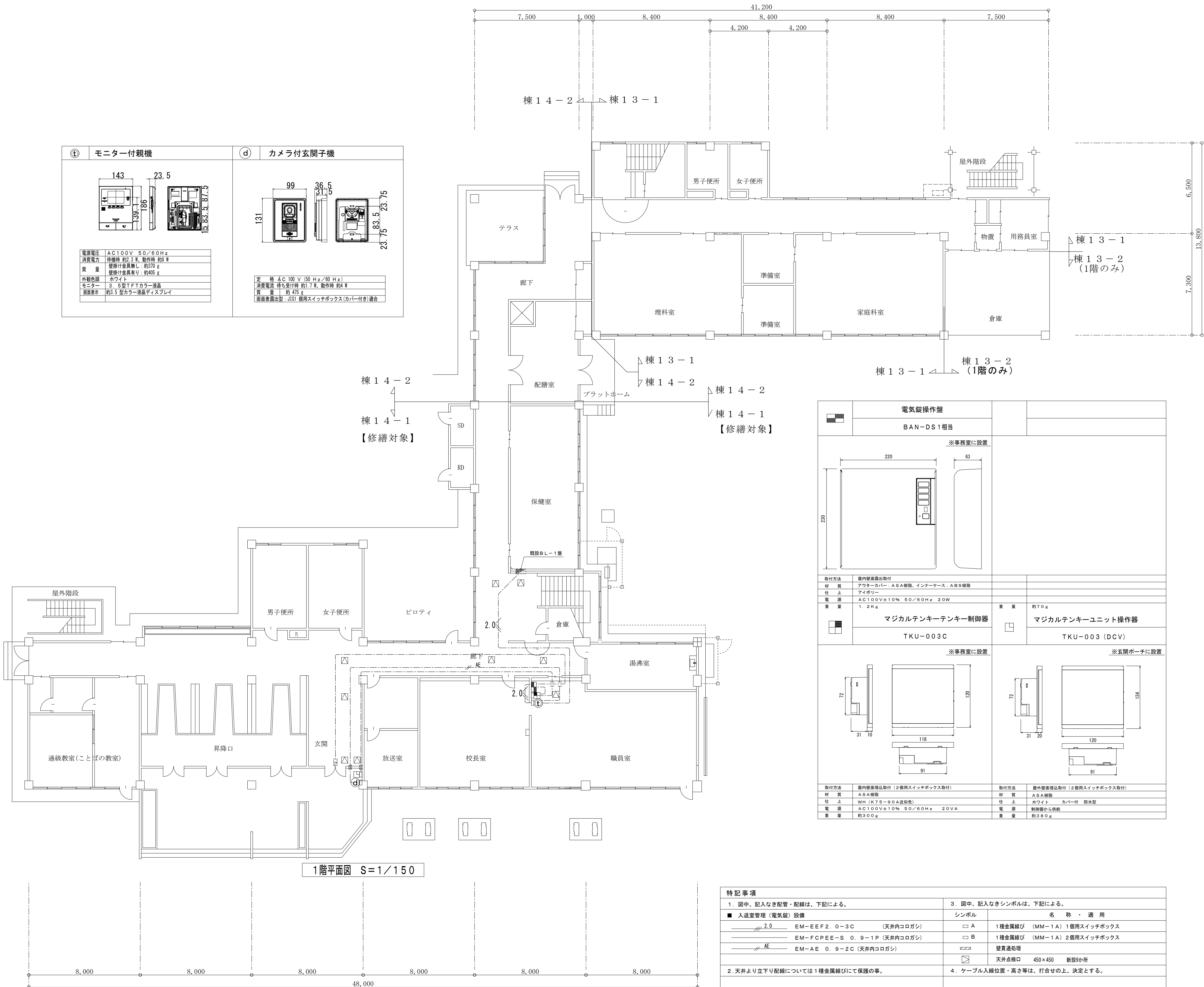
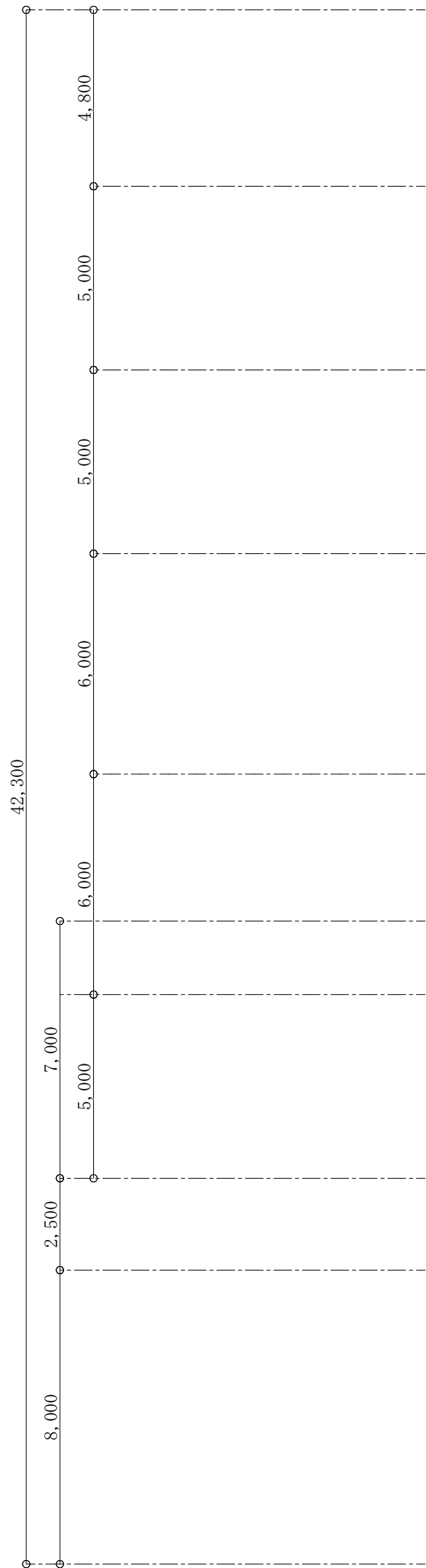
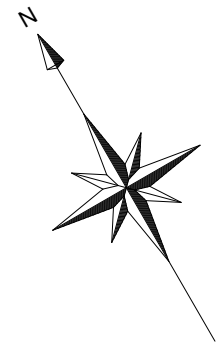
周波数特性	250Hz～6kHz (－20dB)
-------	--------------------

仕上げ	ホーンマウス：アルミニウム
-----	---------------

取付金具	SPHC鋼板 溶融亜鉛メッキ
------	----------------

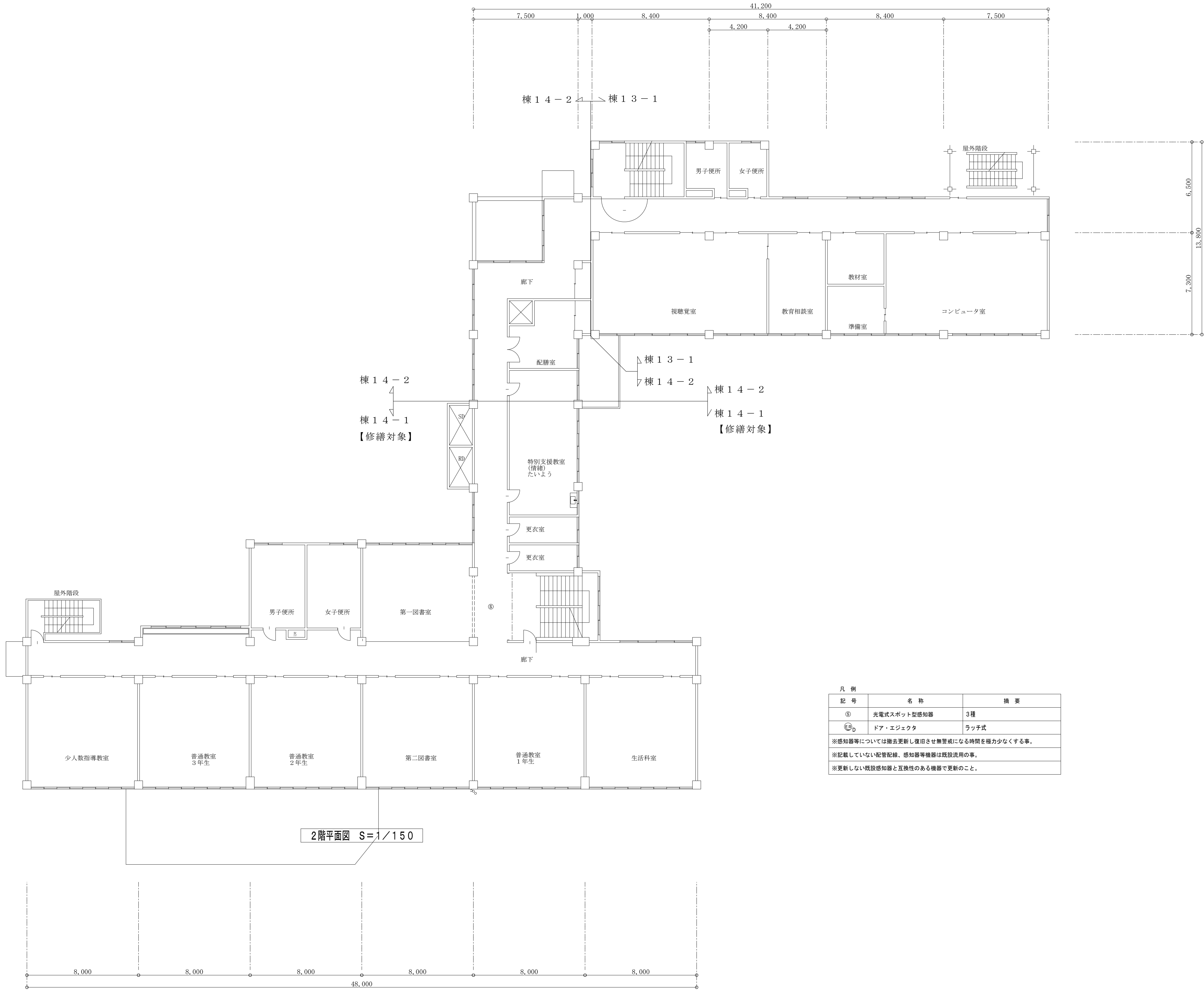
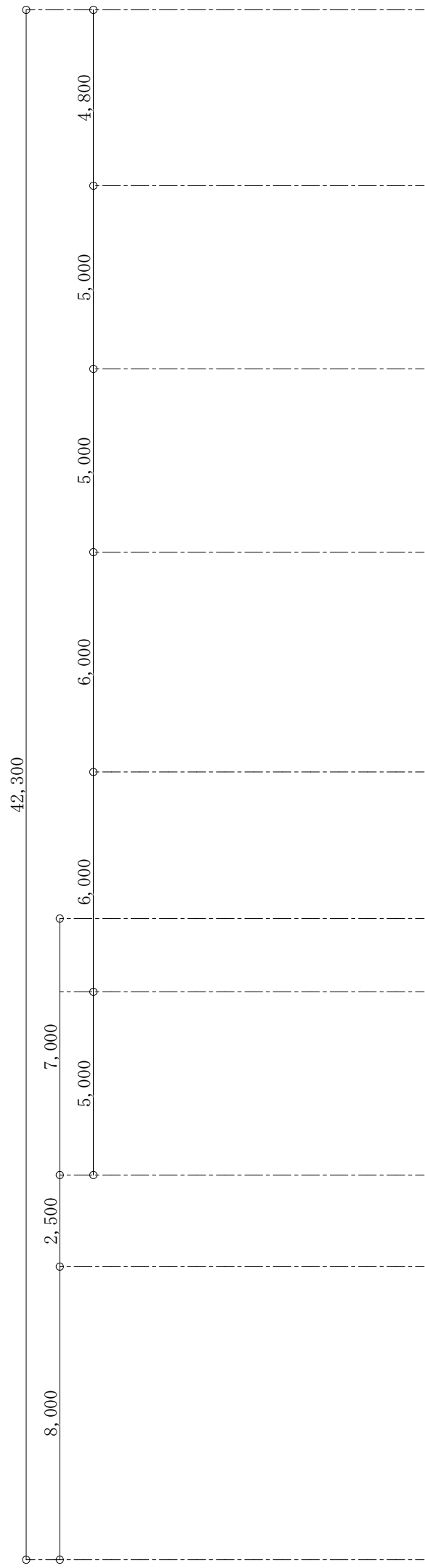
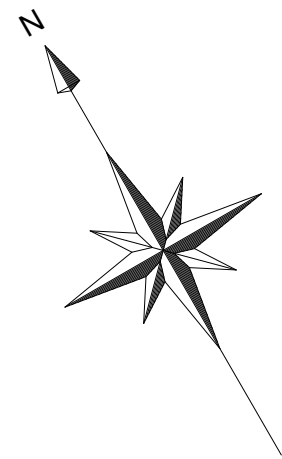
保護等級	IP65 (JIS C 0920)
------	-------------------

※既存を撤去し更新の事。

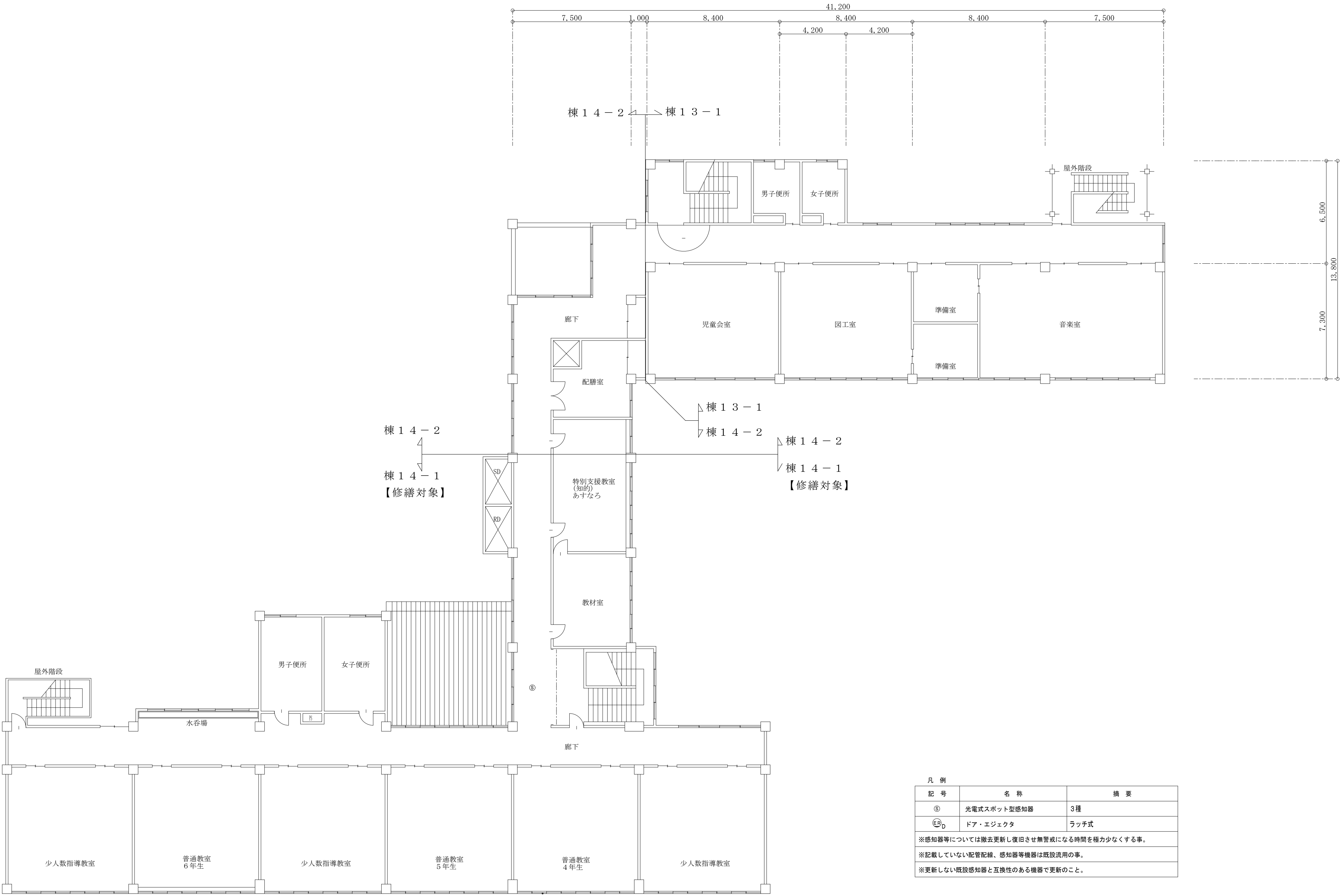
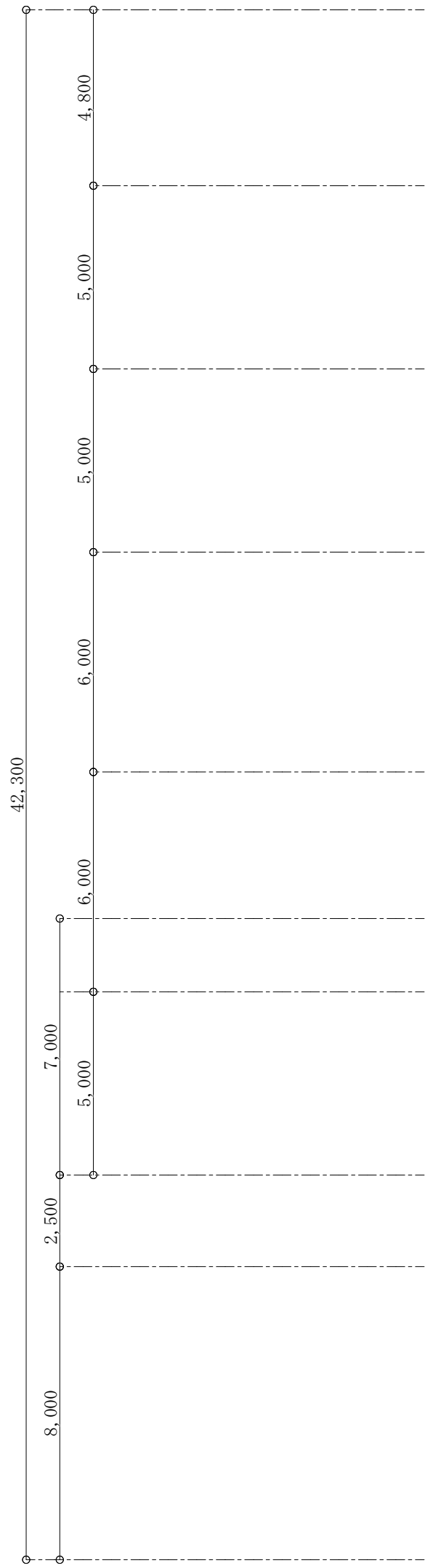
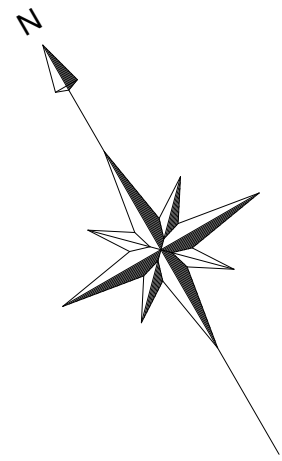


電気錠操作盤			
BAN-DS1相当			
※事務室に設置			
取付方法	壁内埋込面取付		
材質	アウターカバー：ASA樹脂、インナーケース：ABS樹脂		
仕上	アイボリー		
電源	AC100V±10% 50/60Hz 20W	重量	約70g
重量	1.2Kg		
マジカルテンキーテンキー制御器		マジカルテンキーユニット操作器	
TKU-003C		TKU-003 (DCV)	
※事務室に設置		※玄関ポーチに設置	
取付方法	壁内埋込面取付 (2個用スイッチボックス取付)	取付方法	壁内埋込面取付 (2個用スイッチボックス取付)
材質	ASA樹脂	材質	ASA樹脂
仕上	WH (K75-90A銀灰色)	仕上	ホワイト カバー付 防水型
電源	AC100V±10% 50/60Hz 20VA	電源	制御器から供給
重量	約300g	重量	約380g

特記事項		
1. 図中、記入なき配管・配線は、下記による。		
■ 入退室管理（電気錠）設備	シンボル	名 称 ・ 適 用
		1種金属網び (MM-1A) 1個用スイッチボックス
		1種金属網び (MM-1A) 2個用スイッチボックス
		壁貫通処理
		天井点検口 450×450 新設か所
2. 天井より立下り配線については1種金属網びにて保護の事。		
4. ケーブル入線位置・高さ等は、打合せの上、決定とする。		



凡 例		
記 号	名 称	摘 要
⑤	光電式スポット型感知器	3種
⑤D	ドア・エジェクタ	ラッチ式
※感知器等については撤去更新し復旧させ無警戒になる時間を極力少なくする事。		
※記載していない配管配線、感知器等機器は既設流用の事。		
※更新しない既設感知器と互換性のある機器で更新のこと。		



凡 例		
記 号	名 称	摘 要
⑤	光電式スポット型感知器	3種
⑤D	ドア・エジェクタ	ラッチ式
※感知器等については撤去更新し復旧させ無警戒になる時間を極力少なくする事。		
※記載していない配管配線、感知器等機器は既設沿用の事。		
※更新しない既設感知器と互換性のある機器で更新のこと。		

3階平面図 S=1/150

